



MOMENTUM True Wireless 4

True Wireless ステレオイヤホン

モデル：MTW4、MTW4 R、MTW4 L、MTW4 C



取扱説明書

検索機能、ナビゲーション（左）または以下のリンクをご使用ください。

Start

„製品概要“

„最初のステップ“

„イヤホンを使用する“

„よくあるご質問 / エラーが発生した場合“

„技術仕様“

Sonova Consumer Hearing GmbH

Am Labor 1

30900 Wedemark

Germany

www.sennheiser-hearing.com

バージョン：01/24 A01

重要な安全情報



- ▶ 製品をお使いになる前に、本取扱説明書をよくお読みください。
- ▶ 製品を第三者に渡す場合は、必ず本取扱説明書も一緒に渡してください。
- ▶ 明らかな故障がある場合や、大音量の異常な雑音（ヒュー音やピュー音）がある場合は、製品を使用しないでください。
- ▶ 本製品は、ワイヤレスの Bluetooth® 無線通信が許可されている環境でのみお使いください。

健康被害と事故を防止するために

- ▶ 大音量での使用は避けてください。聴覚被害を防止するために、イヤホンを大きな音量で長時間使用しないでください。Sennheiser のイヤホンは、低音量および中音量レベルでも非常によく聞こえます。
- ▶ イヤホンは耳に深く入れすぎないでください。また、必ずイヤアダプターを取り付けて挿入してください。イヤホンはゆっくりと丁寧に耳から取り外します。
- ▶ 本製品は、心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器（ICD）、およびその他のインプラントの障害につながる可能性のある、非常に強力な永久磁場を発生します。磁石を含む製品コンポーネント（イヤホンと充電ボックス）とペースメーカー、埋め込み式除細動器、または他のインプラントの間には、常に少なくとも 10 cm 以上の距離を保ってください。
- ▶ 事故を防ぐため、製品、梱包、アクセサリーの部品は子供やペットの手が届かないところに保管してください。飲み込むと窒息する危険性があります。
- ▶ 道路を歩く場合など、特別に注意が必要な状況では、本製品を使用しないでください。特に製品のアクティブノイズキャンセリングは周囲の雑音を聞こえないようにしたり、警告信号の音響を大きく変化させることがあります。

製品の破損と故障を防止するために

- ▶ 錆や変形を防止するために、製品は常に乾燥した状態に保ち、著しく低温または高温な場所には置かないでください。ドライヤーや暖房などで熱くならないように注意してください。また、長時間直射日光に当てないでください。通常動作温度は 0 ~ 40 °C です。
- ▶ 大音量の異常な（ヒュー音やピュー音）雑音を抑え正常なノイズキャンセリングを確実にするため、耳介の外側にあるアクティブノイズキャンセリングのマイクの開口部を塞がないでください。
- ▶ 同梱されている付属機器 / アクセサリ / 交換部品、または Sonova Consumer Hearing が推奨する付属機器 / アクセサリ / 交換部品のみ使用してください。
- ▶ 製品は柔らかい乾いた布を使って清掃してください。風化保護を施してある製品部分（IP- 保護 - 等級）は軽い湿った布を使って清掃できます。

リチウムイオン電池に関する安全上の注意事項



警告

不正な使用や不適切な使用は、バッテリーの液漏れを引き起こす可能性があります。極端な場合は、以下を招くおそれがあります。

- 爆発
- 高温や火災
- 煙および / またはガスの発生
- 健康被害および / または環境への影響

	Sonova Consumer Hearing が推奨している充電電池とこれに合うチャージャーのみご使用ください。
	製品 / バッテリーの充電中は放置しないでください。
	製品 / バッテリーは 5 ～ 35 °C の周囲温度でのみ充電し、可燃物の近くでの充電はおやめください。
	製品 / 電池を湿った環境で充電しないでください。充電ソケットが湿気や汚れのない状態であることを確認してください。
	本製品 / 電池の温度は 70 °C を超えないようにしてください。本製品 / 電池を日の当たる場所に置いたり、火中に投げたりしないでください。
	使用後は、バッテリーで電力供給される製品のスイッチを切ってください。
	本製品 / バッテリーは長期間使用しない場合でも定期的に充電してください (約 3 か月ごと)。
	この製品にはボタン型バッテリーが含まれています。製品 / ボタン型バッテリーを飲み込んだ、または体の一部に入っていると思われる場合は、直ちに医師に相談してください。
	製品、バッテリー、充電器や充電ケーブルが電源に接続されている場合、長時間の肌との接触はお控えください。これらのコンポーネントは充電中、高温になることがあり、皮膚の炎症等につながるおそれがあります。
	故障した製品は、バッテリーを含め、必ず収集所に廃棄するか、または専門業者までお持ちいただき、リサイクルにご協力ください。

イヤホンの防水対策に関する注意事項

このイヤホンには、イヤホンを水から保護する保護クラス IP54 の耐候性が備わっています (国際保護マーク (IP コード) に基づく保護クラス、IEC 標準 60529、実験室条件下で試験済み)。

そのため、例えば雨天でもイヤホンを使用することができます。しかし、水没させた着用したままでシャワーを浴びるには適していません。長期にわたって湿気が発生したり高湿度下に置かれた場合、耐候性が低下し、製品が損傷する可能性があります。

- ▷ 濡れたイヤホンを充電しないでください。濡れたイヤホンは充電する前に、乾いた布で完全に乾かしてください。

充電ボックスは防滴ではありません。

- ▷ 充電ボックスは常に乾燥した状態に保ってください。
- ▷ 充電ソケットが湿気や汚れのない状態であることを確認してください。

充電ボックスが湿ったり濡れた場合：

- ▷ 充電ボックスを乾いた布で完全に乾かします。
- ▷ 充電ボックスを少なくとも 24 時間室温で乾燥させてから使用を再開したり充電したりすることができます。
- ▷ 明らかな故障がある場合は、製品を使用しないでください。

データと収集と処理およびファームウェアのアップデートに関する注意事項

本製品は、ペアリングされた機器の音量、Bluetooth アドレスなどの個別の設定を保存します。これらのデータは製品を使用するために必要なもので、Sonova Consumer Hearing GmbH または同社の委託業者によって送信・処理されることはありません。

本製品のファームウェアは、インターネット接続を経由してアプリ「Sennheiser Smart Control」で無料で更新できます。アプリをインストールしてある装置がインターネットに接続されていれば、Sonova Consumer Hearing のサーバーへ以下のデータが自動的に送られ処理され、最適なファームウェア更新を準備し転送できるようになっています。ハードウェア識別子、ハードウェア更新番号、製品のファームウェアバージョン、オペレーティングシステムのタイプ (Android、iOS) およびバージョン、アプリのバージョン。データは、ファームウェアの更新を提供および送信する目的にのみ使用され、長期にわたり保存されることはありません。

これらのデータの転送・処理を希望されない場合は、インターネットに接続しないでください。

規定に沿った使用 / 賠償責任

このヘッドフォンは、Bluetooth 無線通信技術を通じての音楽再生および電話などの無線オーディオコミュニケーション用の Bluetooth 対応機器用のアクセサリとして考案されています。

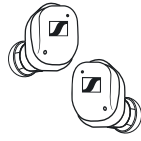
本製品は、付属する製品取扱説明書に記載された以外の方法で使用しないでください。

製品やオプション機器・アクセサリの不正な使用や不適切な使用に起因する損害に対して、Sonova Consumer Hearing GmbH は一切の責任を負いません。Sonova Consumer Hearing GmbH は、USB 規格に適合しない USB 機器の損傷には責任を負いません。

Sonova Consumer Hearing GmbH は空になったり老朽化したバッテリーまたは Bluetooth の到達範囲外に出たための切断による損害については責任を負いません。

製品を使用を開始する前に、各国特有の規制に注意してください。

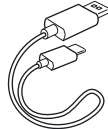
同梱されているもの



右耳用イヤホン R (モデル：MTW4 R) および
左耳用イヤホン L (モデル：MTW4 L)



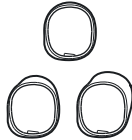
イヤホン用内蔵バッテリーおよび
ワイヤレス充電機能付き充電ボックス (モデル：
MTW4 C)



USB C および
USB A コネクタ付きの充電用 USB ケーブル (約 0.4 m)



シリコン製イヤアダプター (サイズ XS、S、M (出
荷時にイヤホンに取り付けられているサイズ)、L))



シリコン製イヤフィン (サイズ S、M (出荷時に
イヤホンに取り付けられているサイズ)、L))



クイックガイド



安全に関する注意事項

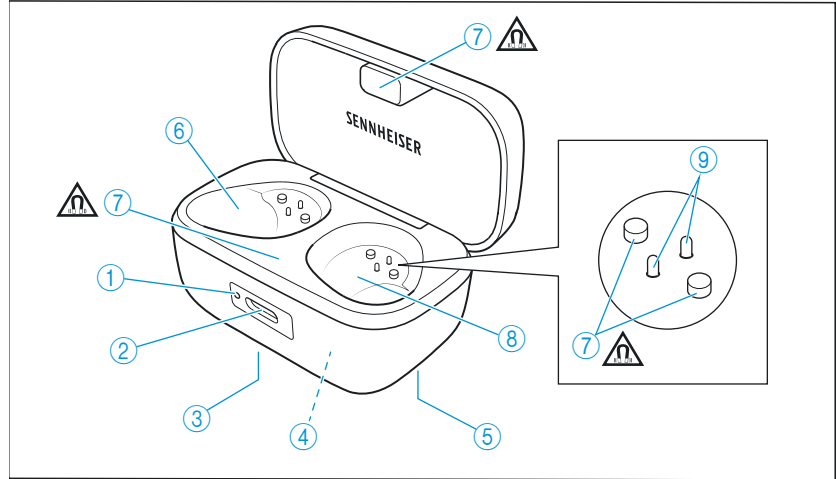
オンラインでご覧ください。

- 詳細を記載した本取扱説明書およびその他の情報
(www.sennheiser-hearing.com/download)
- ヘッドフォンのセットアップおよびその他の機能調整用
Sennheiser Smart Control アプリ：
 - Google Play Store：[こちらをクリックしてください](#)
 - Apple App Store：[こちらをクリックしてください](#)
- アクセサリのリストは、以下の MOMENTUM True Wireless 4 の製
品ページでご覧いただけます。
www.sennheiser-hearing.com/momentum-true-wireless-4
(オンライン購入用、または国内の Sonova Consumer Hearing 正
規取扱店にご連絡ください。
www.sennheiser-hearing.com/service-support)

製品概要

充電ボックス

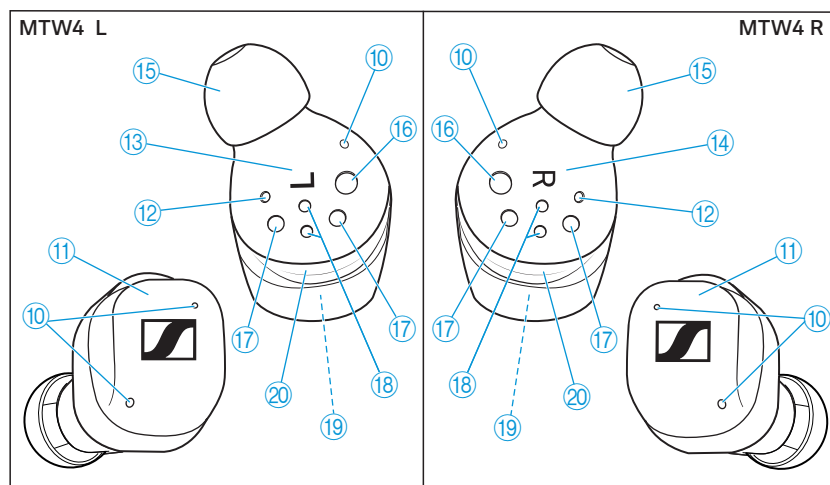
モデル：MTW4 C



- ① LED 表示
バッテリーまたはイヤホンの充電プロセス / 充電レベルを表示します（これらが充電ボックスに装着されている場合）
- ② USB-C コネクタ用ポート
バッテリー充電用
- ③ 接触面
バッテリーのワイヤレス充電用
- ④ 移動中のイヤホン充電用の内蔵バッテリー
- ⑤ 型番プレート
- ⑥ 左 **L** イヤホン用充電ポート
- ⑦ マグネットホルダー
- ⑧ 右 **R** イヤホン用充電ポート
- ⑨ 充電コンタクト

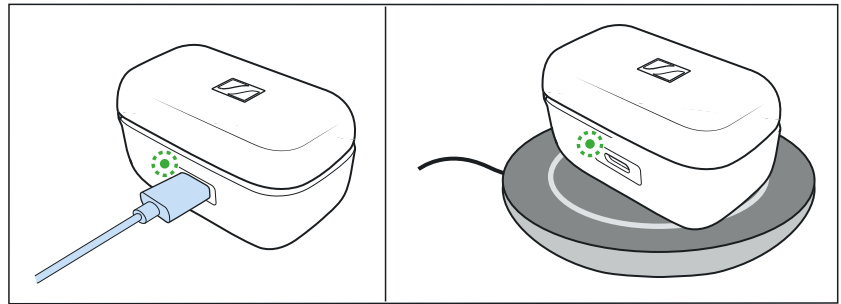
イヤホン

モデル：MTW4 R および MTW4 L



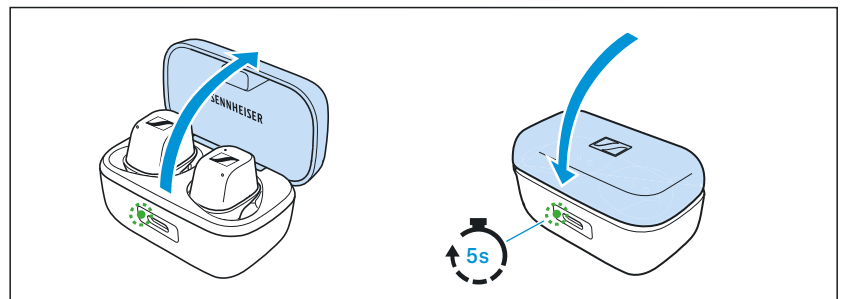
- ⑩ アクティブノイズキャンセリング (ANC)、周囲の認識（「トランスパレンシーモード」）および通話用マイク
- ⑪ タッチ操作パネル
- ⑫ ステータス LED
- ⑬ 左 L イヤホン
- ⑭ 右 R イヤホン
- ⑮ 交換可能なシリコン製イヤークッション
- ⑯ 赤外線近接センサー
- ⑰ マグネットホルダー
- ⑱ 充電コンタクト
- ⑲ 内蔵バッテリー
- ⑳ イヤホンを耳に確実に固定するための交換可能なイヤークッション

充電ボックス LED ディスプレイの概要



USB ケーブルが接続されているか、充電ボックスがワイヤレス充電ステーションに乗っていれば、充電ボックスの LED インジケータは充電プロセスを表示します。

LED		イヤホンを装着した充電ボックス	イヤホンを装着していない充電ボックス
	黄色のパルス	イヤホンと充電ボックスが充電されています。	充電ボックスが充電されています。
	緑色に点灯	イヤホンと充電ボックスが完全に充電されました。	充電ボックスが完全に充電されました。
	赤い点滅	少なくとも 1 つのイヤホンに充電 / バッテリーエラーがあります (> 41)。	充電ボックスに充電 / バッテリーエラーがあります (> 41)。



USB ケーブルが接続されておらず、充電ボックスがワイヤレス充電ステーションに置かれていなければ、充電ボックスのカバーを開くと、LED ディスプレイはバッテリーの充電レベルまたはイヤホンの充電プロセスを表示します。充電ボックスのふたを閉めると、5 秒後に LED ディスプレイが消えます。

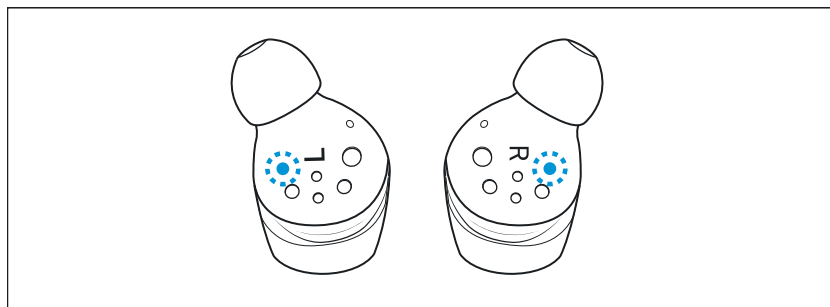
LED		イヤホンを着した充電ボックス	イヤホンを着していない充電ボックス
	緑色に点灯	イヤホンは完全に充電されており、充電ボックスは 50 % 以上充電されています。	充電ボックスは 50 % 以上充電されています。
	黄色のパルス	イヤホンは充電ボックスのバッテリーを介して充電されています。	—
	黄色に点灯	イヤホンは完全に充電されていますが、充電ボックスは 50 % 以下しか充電されていません。	充電ボックスは 50 % 以下しか充電されていません。
	赤色に点灯	イヤホンおよび充電ボックスのバッテリーの残量はほとんどありません。	充電ボックスのバッテリーの残量はほとんどありません。
	赤い点滅	少なくとも 1 つのイヤホンに充電 / バッテリーエラーがあります (> 41)。	充電ボックスに充電 / バッテリーエラーがあります (> 41)。



LED ディスプレイが点灯しない場合：

- イヤホンおよび充電ボックスの接点を製造してください (> 39)。
- 充電ボックスがワイヤレス充電ステーションに乗っていることを確認してください (最大間隔 3 mm)。
- 少なくとも 10 秒お待ちください。ワイヤレス充電ステーションによっては、充電の開始まで少し時間がかかります。
- ワイヤレス充電ステーションの設置手順をよく読み、電磁場や物体が充電ステーションに影響を及ぼさないようにしてください (ワイヤレス充電ステーションの取扱説明書を参照)。
- LED ディスプレイが再度点灯するまで (少なくとも 30 分)、充電ボックスとイヤホンのバッテリーを充電してください (> 16)。

イヤホン LED ディスプレイの概要



LED		意味
	赤 / 青色に 約 2 分間点滅	イヤホンが Bluetooth ペアリングモードになっています。
	青色に 3 回 点滅	Bluetooth ペアリングまたはイヤホンペアリングが成功しました。
	赤色に 3 回点滅	Bluetooth ペアリングまたはイヤホンペアリングに失敗しました。
	青色に点灯	イヤホンは Bluetooth 経由で機器に接続されます。
	赤色に点灯	イヤホンが Bluetooth 経由で機器と接続されていない、または接続が中断されました。
	赤色に素早く点滅	バッテリーの残量がほとんどありません。
	赤色にゆっくり点滅	システムエラーが発生しました。リセットを行ってください (> 43)。
	赤 / 緑色に 約 1 分間点滅	イヤホンはイヤホンペアリングモードです (左右のイヤホンをペアリングします)。

i イヤホンを耳に着用すると、LED は自動的にオフになります。イヤホンが耳に装着されていないと、LED は 30 秒後にオフになります。

音声メッセージについての注記

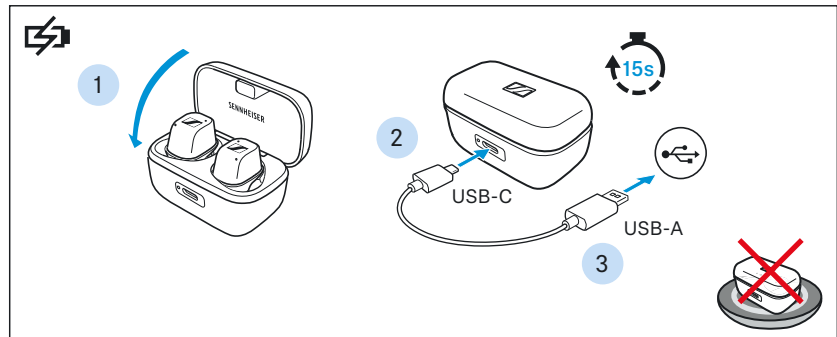
イヤホンは、イベントに関する音声メッセージを提供します (表に例を示します)。Smart Control アプリ経由で、音声メッセージの言語の変更、音声メッセージと通知音間の選択、または少数の例外を除いて (電池切れの通知など) ステータスメッセージをオフにすることができます。

音声メッセージ	意味
「Power on」 (「オン」)	イヤホンがオンになっています。
「Power off」 (「オフ」)	イヤホンがオフになります。
「Connected」 (「接続されました」)	イヤホンは Bluetooth 経由で接続されています。
「No connection」 (「接続がありません」)	イヤホンが Bluetooth 経由で接続されていません。

音声メッセージ	意味
「Pairing」 (「ペアリング」)	イヤホンが Bluetooth ペアリングモードになっています。
「Pairing cancelled」	Bluetooth ペアリングモードが中断されました。
“Pairing successful” (「ペアリング成功」)	Bluetooth ペアリングに成功しました。
「Pairing failed」 (「ペアリングに失敗しました」)	Bluetooth ペアリングに失敗しました。
「Recharge headset」 (“ヘッドセットを充電してください”)	バッテリーがほぼ空です。バッテリーを充電します。
「Call rejected」 (「発信が拒否されました」)	発信した通話が拒否されました。
「Call ended」 (「通話が終了しました」)	通話が終了しました。
「Mute on」 (「ミュートオン」)	通話中のマイクをミュートします。
「Mute off」 (「ミュートオフ」)	マイクのミュートが解除されました。
「Volume min」 (「最小音量」)	音量を最小に設定
「Volume max」 (「最大音量」)	音量を最大に設定

最初のステップ

1. イヤホンと充電ボックスのスリープを解除し、バッテリーを充電



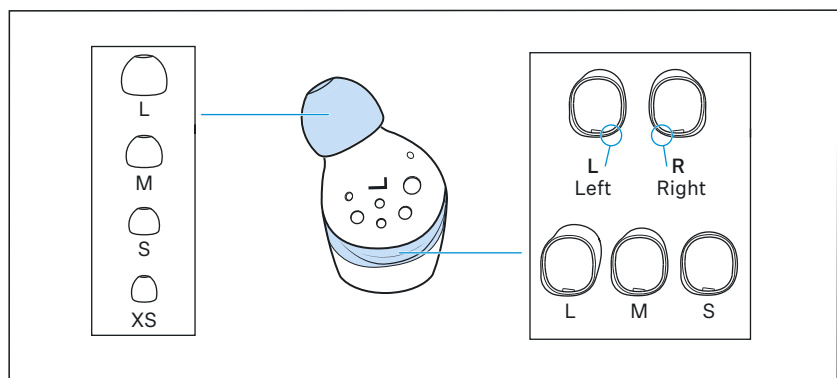
USB- 納入時にはイヤホンのバッテリーと充電ボックスはスリープモードであり、USB 電源に一度接続してスリープを解除してください。

1. イヤホンを充電ボックスに入れ、充電ボックスのふたを閉めてください。
2. USB C ケーブルを充電ボックスに接続します。
3. ケーブルを USB 電源 (> 16) に接続し、バッテリーを 15 秒以上充電します。
イヤホンと充電ボックスのスリープが解除され、バッテリーが充電されます。これでイヤホンを使用できます。

i バッテリーのスリープモード解除には、USB ケーブルを接続する必要があります。これには、ワイヤレス充電機能は使用できません。

i 初めてご使用になる前にイヤホンと充電ボックスを中断することなくフルに充電することをお勧めします。

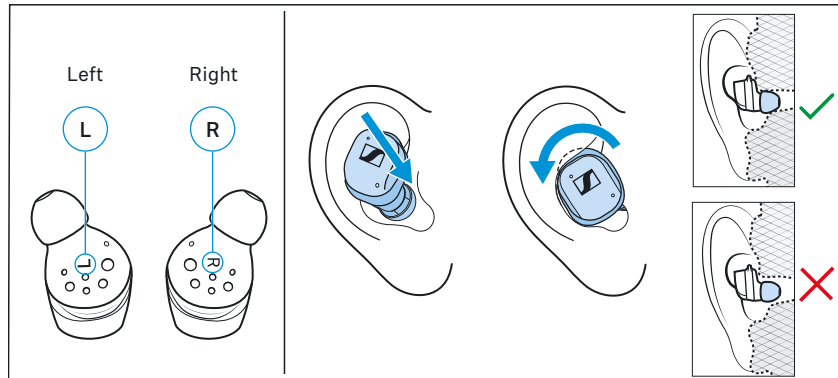
2. 耳にぴったりとフィットする適切なイヤーアダプターとイヤーフィンを選択する



低音、最大限のノイズキャンセリング、通話時の聞き取りやすさを含む、知覚される音質およびイヤホンの耳への確実なフィットは、イヤホンの装着状態に依存します。このため、さまざまなサイズのイヤーアダプターとイヤーフィンが用意されています。

イヤーアダプターは、XS、S、M、L の 4 つのサイズ、そしてイヤーフィンは、S、M、L の 3 つのサイズからお選びいただけます (> 24)。

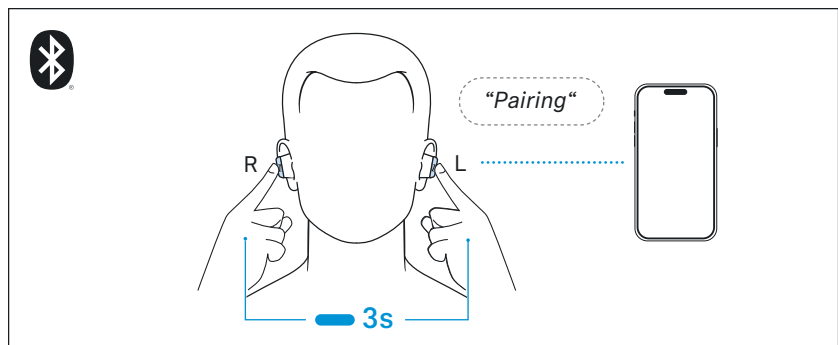
- ▷ どのイヤードアダプターのサイズとイヤーフインが、最高の音質と着け心地を提供するかお試しください。



- ▷ 左右のイヤホンを左右の耳に割り当てます。
- ▷ イヤホンを軽く傾けて耳に挿し込み、外耳道に少し回して挿し入れ、イヤホンが外耳道内と耳たぶで快適で安定してフィットするようにします(>26)。

i Smart Control アプリの「フィットテスト」機能を使用して、イヤホンの耳へのフィット感をテストすることができます。

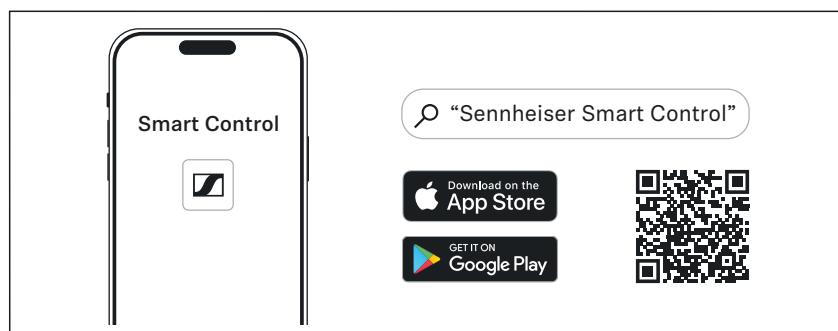
3. イヤホンを Bluetooth 機器と接続する



イヤホンを初回充電後に初めてオンにすると、自動的に Bluetooth ペアリングモードに切り替わります。イヤホンが Bluetooth デバイスとペアリングされていないと (ペアリングリストが空の場合)、ペアリングモードは永続的に有効のままとなります。

- ▷ イヤホンを Bluetooth でお使いのスマートフォンと接続します (>20)。

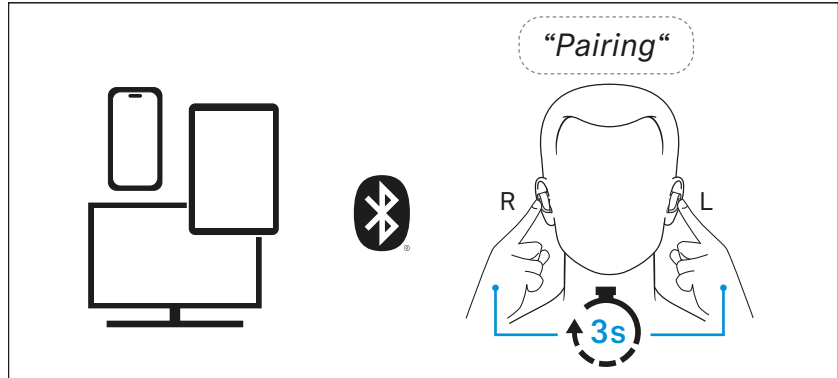
4. お使いのスマートフォン用の Smart Control アプリのインストール



Sennheiser Smart Control アプリを用いると、イヤホンのすべての機能と設定を利用でき、例えばイコライザーによりサウンドをお好みの通りに調整できます (> 21)。

- Google Play Store : [こちらをクリックしてください](#)
- Apple App Store : [こちらをクリックしてください](#)

5. 他の Bluetooth デバイスを接続する



▷ 必要に応じて、Bluetooth 経由でイヤホンを他の機器に接続します (> 20)。

イヤホンは接続プロファイルをペアリングした機器最大 6 個について保存することができます。オーディオの再生は、1 度に 1 台のデバイスからのみ可能です。

Smart Control アプリを介して、ペアリングしたデバイスのリストを表示し、特定のデバイスを接続および切断することができます (> 21)。

イヤホンを使用する

バッテリーと充電プロセスおよび最初の使用についての情報

イヤホンと充電ボックスにはそれぞれ内蔵バッテリーがあります。

バッテリーの充電は以下の方法で行ってください。

- 付属の USB ケーブル
- ワイヤレス充電ステーション (Qi 互換品、別売)

イヤホンを充電する場合は、充電ボックスに入れておく必要があります。これにより、外出先でも常にイヤホンを安全に保管し、充電することができます。

納入時には、イヤホンのバッテリーと充電ボックスはスリープモードであり、電源に少なくとも 30 秒接続し、スリープモードを解除する必要があります。充電ボックスのふたは閉じておいてください。

充電ボックスとイヤホンの充電サイクル全体は約 1.5 時間かかります。急速充電機能を使用することで、8 分間の充電で約 1 時間の再生が可能です。充電時間は、使用する電源および周囲温度に応じて変化します。

初めてご使用になる前にイヤホンと充電ボックスを中断することなくフルに充電することをお勧めします。

電源に接続した USB ケーブルを充電ボックスに接続するか充電ボックスをワイヤレス充電ステーションに置けば、充電ボックスのバッテリーが充電されます。イヤホンが充電ボックスにセットされると、イヤホンのバッテリーも同時に充電されます。充電ボックスの LED ディスプレイは充電状態を表示します (> 8)。

イヤホンバッテリーの残量が危険なレベルまで低下すると、音声メッセージがイヤホンを充電するよう「Recharge headset」と促します。

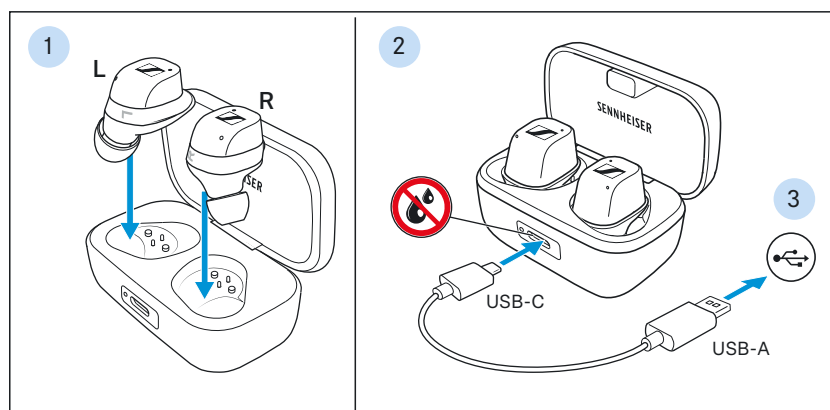
充電ボックスのバッテリーの充電レベルは LED ディスプレイ経由で表示されます (> 8)。

バッテリーを内蔵した本製品は、使い終わった後、分別して廃棄する必要があります。詳しい情報はこちらをご覧ください。> 47。

i イヤホンには、より長時間のバッテリー駆動を可能にするエコモード (> 36) と、穏やかに充電することでバッテリー駆動時間を長くするバッテリー保護モード (> 36) があります。

どちらのモードも Smart Control アプリから起動できます。

バッテリーの USB ケーブルを用いた充電

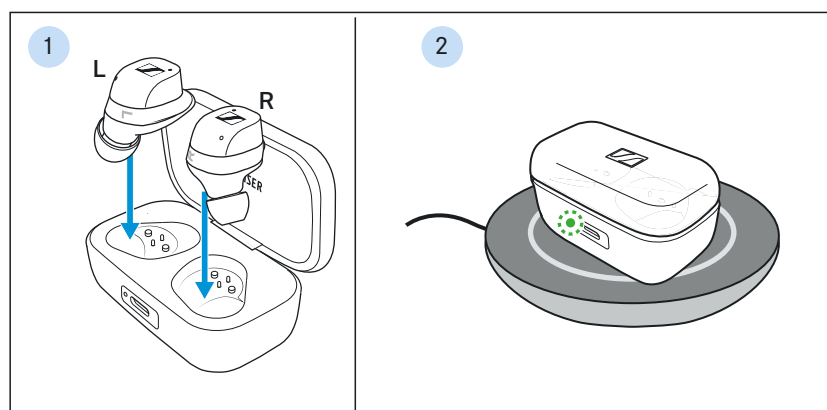


1. マグネットの軽い抵抗がありますが充電ボックスのふたを開き、左のイヤホンを左、右のイヤホンを右の充電ポートにセットします。
イヤホンはマグネットにより充電ポートに引き付けられます。
2. 充電ソケットが湿気や汚れのない状態であることを確認してください。充電ケーブルの USB C コネクタを充電ボックスの USB ポートに挿入します。
3. USB A コネクタを USB 電源アダプターの該当するポートに挿入します（納入品には含まれません）。USB 電源アダプターが送電網に接続されていることを確認してください。
イヤホンと充電ボックスが充電されます。
イヤホンが充電ボックスにセットされていない場合は、充電ボックスのバッテリーのみが充電されます。
充電ボックスの LED ディスプレイはステータスを表示します。

LED		イヤホンを装着した充電ボックス	イヤホンを装着していない充電ボックス
	黄色に点滅	イヤホンと充電ボックスが充電されています。	充電ボックスが充電されています。
	緑色に点灯	イヤホンと充電ボックスが完全に充電されました。	充電ボックスが完全に充電されました。
	赤い点滅	少なくとも 1 つのイヤホンに充電 / バッテリーエラーがあります (> 41)。	充電ボックスに充電 / バッテリーエラーがあります (> 41)。

- i** LED ディスプレイが点灯しない場合：
- イヤホンおよび充電ボックスの接点を製造してください (> 39)。
 - 充電ボックスの USB-C ポートを掃除してください。
 - LED ディスプレイが再度点灯するまで、(最低 30 分間) 充電ボックスとイヤホンのバッテリーを充電してください。

バッテリーのワイヤレス充電



1. マグネットの軽い抵抗がありますが充電ボックスのふたを開き、左のイヤホンと右のイヤホンを右の充電ポートにセットします。
イヤホンはマグネットにより充電ポートに引き付けられます。
2. 充電ボックスの下側をワイヤレス充電ステーション (Qi 互換品、別売) の中央に合わせて置いてください。
イヤホンと充電ボックスが充電されます。
イヤホンが充電ボックスにセットされていなければ、充電ボックスのバッテリーのみが充電されます。
充電ボックスの LED ディスプレイはステータスを表示します。

LED		イヤホンを装着した充電ボックス	イヤホンを装着していない充電ボックス
	黄色に点滅	イヤホンと充電ボックスが充電されています。	充電ボックスが充電されています。
	緑色に点灯	イヤホンと充電ボックスが完全に充電されました。	充電ボックスが完全に充電されました。
	赤い点滅	少なくとも 1 つのイヤホンに充電 / バッテリーエラーがあります (> 41)。	充電ボックスに充電 / バッテリーエラーがあります (> 41)。

i LED ディスプレイが点灯しない場合：

- イヤホンおよび充電ボックスの接点を製造してください (> 39)。
- 充電ボックスがワイヤレス充電ステーションに乗っていることを確認してください (最大間隔 3 mm)。
- 少なくとも 10 秒お待ちください。ワイヤレス充電ステーションによっては、充電の開始まで少し時間がかかります。
- ワイヤレス充電ステーションの設置手順をよく読み、電磁場や物体が充電ステーションに影響を及ぼさないようにしてください (ワイヤレス充電ステーションの取扱説明書を参照)。
- LED ディスプレイが再度点灯するまで (少なくとも 30 分以上)、充電ボックスとイヤホンのバッテリーを充電してください (> 16)。

イヤホンを Bluetooth 機器と接続する

Bluetooth ワイヤレス接続を使用するには、Bluetooth 機器の設定を通じて両方のデバイス (イヤホンとスマートフォンなどの Bluetooth 機器) を一度登録する必要があります。このプロセスはペアリングと呼ばれます。

操作が指定のステップとは異なる場合、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書にもご注意ください。

 イヤホンを初回充電後に初めてオンにすると、自動的に Bluetooth ペアリングモードに切り替わります。

Bluetooth 無線通信に関する情報

イヤホンは、Bluetooth 5.4、LE Audio、Auracast™オーディオ伝送規格に準拠しています。

Bluetooth

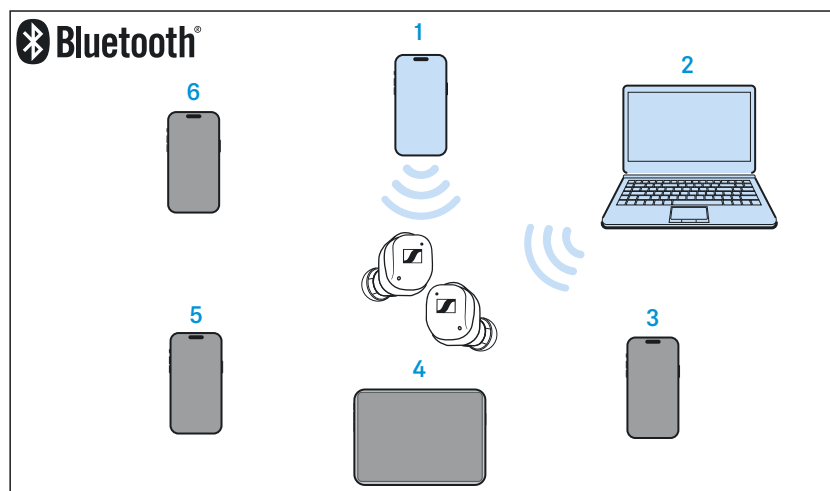
オーディオソースが以下のハイレゾオーディオコーディング方式のいずれかに対応している場合、音楽は自動的に高音質で再生されます (aptX™ Adaptive または AAC)。それ以外の場合は、イヤホンは音楽を通常の音質 (SBC) で再生します。使用する Bluetooth 機器によっては、LE Audio での再生も可能です。Smart Control アプリには、使用されているオーディオコーディングが表示されます。

ペアリングされた機器は、電源をオンにすると、直ちに Bluetooth 無線通信が確立され、使用することができます。

電源を入れるとイヤホンは自動的に、最後に使用した Bluetooth 機器と接続しようとします。イヤホンは接続プロファイルをペアリングした機器最大 6 個について保存することができます。オーディオの再生は、1 度に 1 台のデバイスからのみ可能です。

イヤホンを 7 台目の Bluetooth 機器にペアリングすると、最も使用頻度の低い Bluetooth 機器について保存されている接続プロファイルが上書きされます。後でこの Bluetooth 機器に再接続する場合は、イヤホンを再度ペアリングする必要があります。

Smart Control アプリを介して、ペアリングしたデバイスのリストを表示し、特定のデバイスを接続および切断することができます (> 21)。





ペアリングされ、接続された Bluetooth 機器

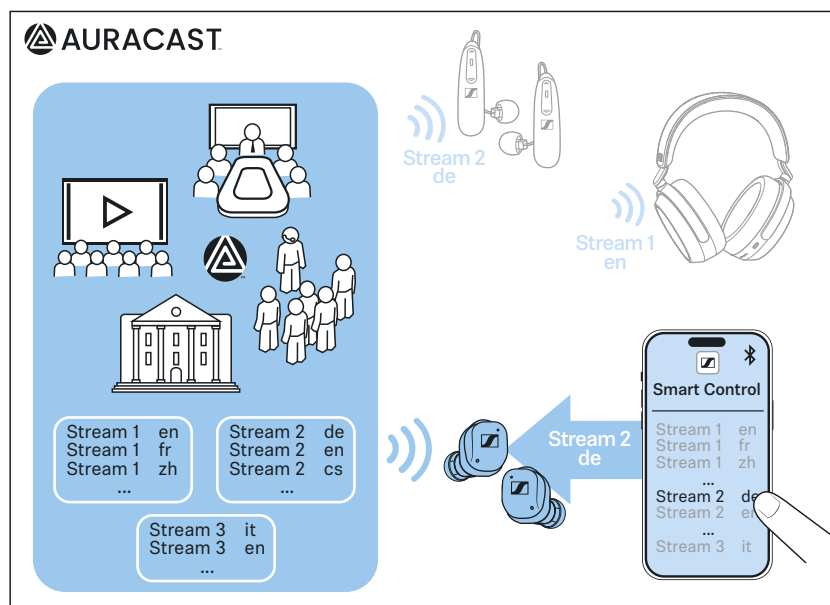


ペアリングされた (ペア済み) Bluetooth 機器 (現在接続なし)

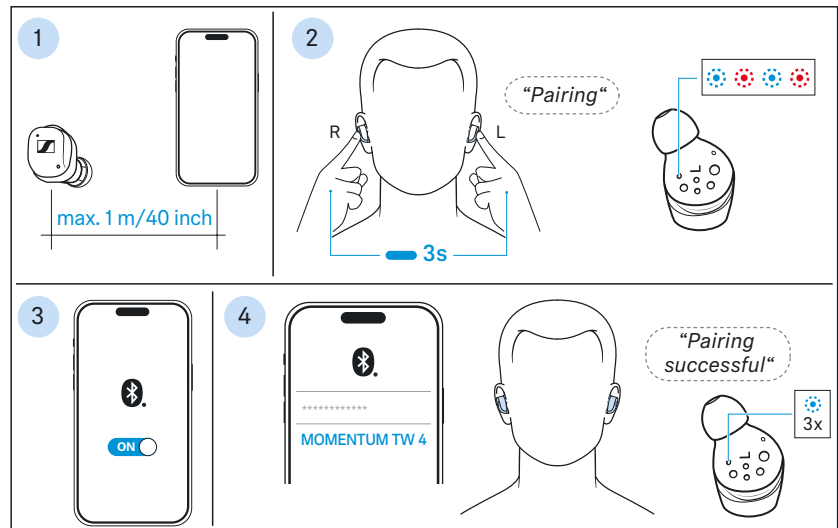
Auracast™ ブロードキャストオーディオ

Auracast™ 技術は、送信機 (美術館のツアーシステム、テレビ、会議場の公共放送システムなど) から、一定の送信機半径内にある無制限の受信機 (ヘッドホン、補聴器など) に音声信号を送信することを可能にします。これにより、たとえば自分のイヤホンと友人のイヤホンなど、複数の出力機器に同時に音声データを出力することができます。

送信機が Auracast™オーディオデータを利用可能にすると、受信機はすぐに情報を取得できます。Smart Control アプリを使用して、受信機で公開されている Auracast™チャンネルを 1 つ選択し、再生することができます。イヤホンが Bluetooth 経由で機器に接続されている場合、サウンドはイヤホンに送信されます。



イヤホンを Bluetooth 機器とペアリングする



1. 両方のイヤホンを充電ボックスから取り出し、耳に装着してください (> 26)。イヤホンと Bluetooth デバイスの距離は最大 1 m までにしてください。
2. 左右のタッチ操作パネルを 3 秒間同時に触れたままにすると、音声メッセージ「Pairing」と信号音が聞こえます。イヤホンの LED が青色と赤色に点滅します。イヤホンはペアリングモードです。
3. Bluetooth 機器の Bluetooth を作動させてください。
4. Bluetooth 機器のメニューで Bluetooth 機器の検索を有効にします。
機器の近くにあるすべての有効な Bluetooth 機器が表示されます。
検出された Bluetooth 機器「MOMENTUM 4」を選択してください。必要なときは PIN コード「0000」を入力します。
ペアリングに成功すると、音声メッセージ「Pairing successful」が聞こえ、イヤホンの LED が 3 回青色に点滅します。

i 接続が 2 分以内に確立されない場合には、ペアリングモードは終了し、イヤホンは再びスリープモードになります。場合により前記の手順を繰り返します。
イヤホンが Bluetooth デバイスとペアリングされていないと（ペアリングリストが空の場合）、ペアリングモードは永続的に有効のままとなります。

Smart Control アプリをインストールする

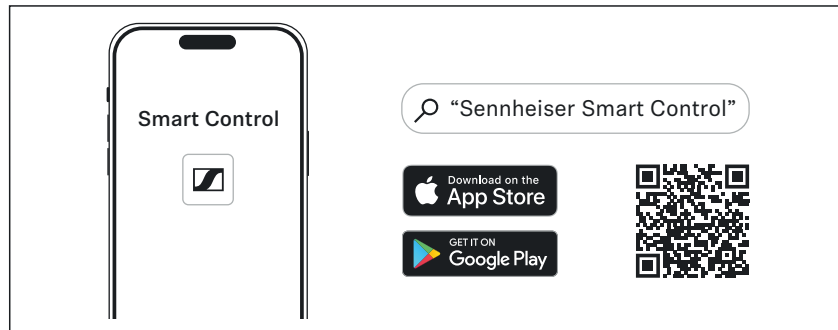
イヤホンの設定をご自分のニーズに適合させ、イヤホンのすべての機能を利用できるためには、無料の Sennheiser Smart Control アプリがスマートフォンにインストールされていることが前提となります。

i イヤホンは Smart Control アプリと接続されている限り、Bluetooth 機器としかペアリングされません。

- ▷ アプリを Apple AppStore または Google Play からダウンロードし、お使いのスマートフォンにインストールしてください。
 - Google Play Store : [こちらをクリックしてください](#)
 - Apple App Store : [こちらをクリックしてください](#)

別の方法として、お使いのスマートフォンで以下の QR コードをスキャン、または以下のインターネットサイトで呼び出すことができます。

www.sennheiser-hearing.com/smartcontrol



- ▷ お使いのスマートフォンを Bluetooth 無線通信を介してイヤホンと接続してください (> 20)。
- ▷ Smart Control アプリ を起動します。
- ▷ アプリの指示に従ってください。

ペアリングされた Bluetooth 機器への接続の変更 / 「接続」

「接続」機能を使用して、ペアリングしている Bluetooth 機器とのオーディオ接続を変更するには、Smart Control アプリが必要です (> 21)。

- ▷ 「Bluetooth」で Smart Control アプリをタップしてください。
イヤホンとペアリングされている Bluetooth 機器のリストが表示されます。
- ▷ イヤホンを接続したいペアリングされたデバイスをリストから選択します。所望のデバイスがオンになっていて、Bluetooth が有効になっていることを確認します。
所望の Bluetooth 機器とイヤホン間で Bluetooth オーディオ接続が確立されます。
Smart Control アプリ付きデバイスとイヤホンの間でアプリ接続が維持されます (アプリとイヤホン間の通信には Bluetooth Low Energy のみで、デバイス名は太字で強調表示されます)。

i 「接続」機能を利用することで、イヤホンを工場出荷時の状態にリセットすることなく、デバイスのペアリング情報を個別に削除することができます。

イヤホンと Bluetooth 機器の接続を切る

- ▷ お使いの Bluetooth 機器のメニューでイヤホンへの接続を切ってください。

イヤホンは Bluetooth 機器から切断されました。

イヤホンは他のペアリングされた機器を検索します。どの機器も見つからない場合、音声メッセージ "No connection" が聞こえます。イヤホンがスリープモードに切り替わります。

- i** Smart Control アプリと「ブルートゥース」機能を使用すると、既存の接続を終了せずに、ペアリングされたデバイスにイヤホンを優先的に接続したり、特定のデバイスのペアリング情報を削除したりできます (> 21)。

- i** イヤホンの Bluetooth ペアリングリストのすべての項目を削除する場合は、Smart Control アプリでイヤホンを工場出荷時設定にリセットしてください (> 43)。

Auracast™送信機への接続を確立する

「Auracast」機能を使用すると、Auracast™送信機への接続を選択および変更できます。

同時に複数の Auracast™送信機に接続できます。現在音声データを送信している送信機が自動的にイヤホンで再生されます。

- ▷ Auracast™送信機の範囲内にいることを確認してください。
- ▷ イヤホンが Smart Control アプリに接続されていることを確認します (> 21)。
- ▷ Smart Control アプリのスタート画面で「Auracast」エリアをタップします。
送信機検索メニューが開きます。

自動送信機検索を開始するか、QR コードを使用して直接送信機を選択できます。

自動送信機検索を開始するには、

- ▷ 「検索開始」ボタンをタップします。
範囲内で利用可能な Auracast™送信機が一覧表示されます。
メニューに「検索」アニメーションが表示されている間は、送信機検索が有効です。

- i** Auracast™送信機への接続には、パスワード保護が適用されるものがあります。対応する送信機には、送信機概要でロック記号 (🔒) が表示されます。

- ▷ リスト内で接続したい送信機をタップします。
選択した送信機への Bluetooth オーディオ接続が確立されます。
選択したトランスミッターには青いチェックマーク (✓) が表示されます。
送信機がオーディオ送信を開始すると、イヤホンで再生されます。
送信機のアクティブなオーディオ送信は、デジタル信号記号 (📶) で認識できます。

- i** 送信機リストの下にある「番組を検索」ボタンをタップすると、自動送信機検索を繰り返すことができます。

QR コードから Auracast™送信機を選択するには、

- ▷ 送信機検索メニューの QR コードアイコン (𐀀) をタップします。
Bluetooth 機器でカメラアプリまたは QR スキャナーアプリが開きます (モデルによって異なります)。
- ▷ Auracast™送信機の QR コードをスキャンし、画面上の指示に従ってプロセスを完了します。
選択した送信機への Bluetooth オーディオ接続が確立されます。
送信機は利用可能な送信機のリストに表示され、青いチェックマーク (✓) が付いています。
送信機がオーディオ送信を開始すると、イヤホンで再生されます。
送信機のアクティブなオーディオ送信は、デジタル信号記号 (𐀀) で認識できます。

 Auracast™送信機の無線範囲から離れると、接続と音声送信は中断されます。送信機の無線範囲に戻るとすぐに接続が再確立され、音声送信が自動的に開始されます。

 音楽を聴いているときなど、メディア再生中は、Auracast™送信が優先されます。前の再生はミュートされます。

Auracast™送信機を選択する際のアイコンの概要

シンボル		意味 / 機能
	青いチェックマーク	Auracast™送信機が接続されました
	青いデジタル信号	アクティブ音声伝送付き Auracast™送信機
	ロック	パスワード保護機能付き Auracast™送信機
	QR コード	QR コードによる Auracast™送信機検索
	情報	Auracast™送信機のサブスクリプションの有効化またはキャンセル

Auracast™送信機への接続を切り替える

同時にオーディオデータを送信している複数の Auracast™送信機に接続している場合、最後にアクティブになった送信機がイヤホンで再生されます。

送信機は手動で変更できます。

- ▷ Smart Control アプリのスタート画面で「Auracast」エリアをタップします。
送信機概要が開きます。
- ▷ 目的の送信機への Bluetooth オーディオ接続が確立されていること、および送信機がオーディオデータを送信していることを確認してください。これは、青いチェックマーク (✓) とデジタル信号記号 (|||||) で確認できます。
- ▷ リスト内で再生したい送信機をタップします。
送信機のオーディオデータがイヤホンで再生されます。

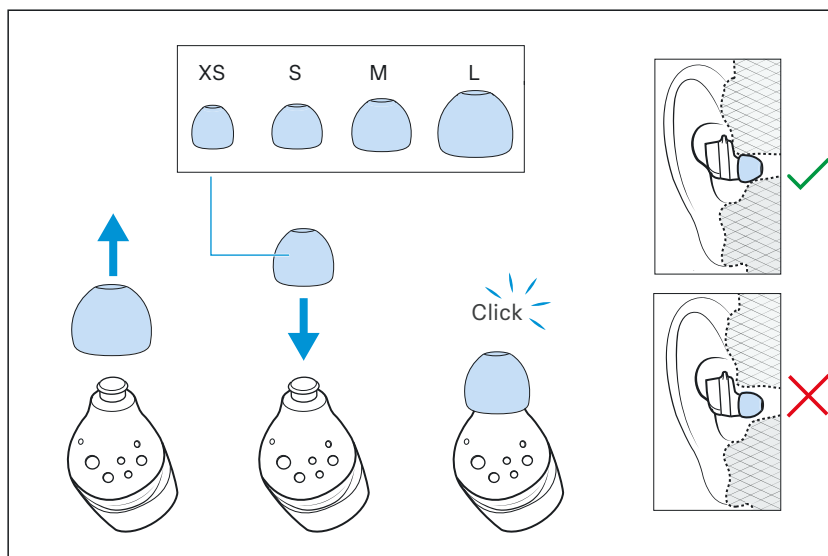
Auracast™送信機から切断する

- ▷ Smart Control アプリのスタート画面で「Auracast」エリアをタップします。
送信機概要が開きます。
接続されている送信機には青いチェックマーク (✓) が付いています。
- ▷ 接続を解除してサブスクリプションを解除したい送信機の情報アイコン (i) をタップします。
Auracast™送信機への接続が切断され、自動的に再度確立されなくなります。

イヤホンの最適な着け心地のために、適切なイヤーアダプターとイヤーフィンを選択する

低音、最大限のノイズキャンセリング、通話時の聞き取りやすさを含む、知覚される音質およびイヤホンの耳への確実なフィットは、イヤホンの装着状態に依存します。このため、さまざまなサイズのイヤーアダプターとイヤーフィンが用意されています。

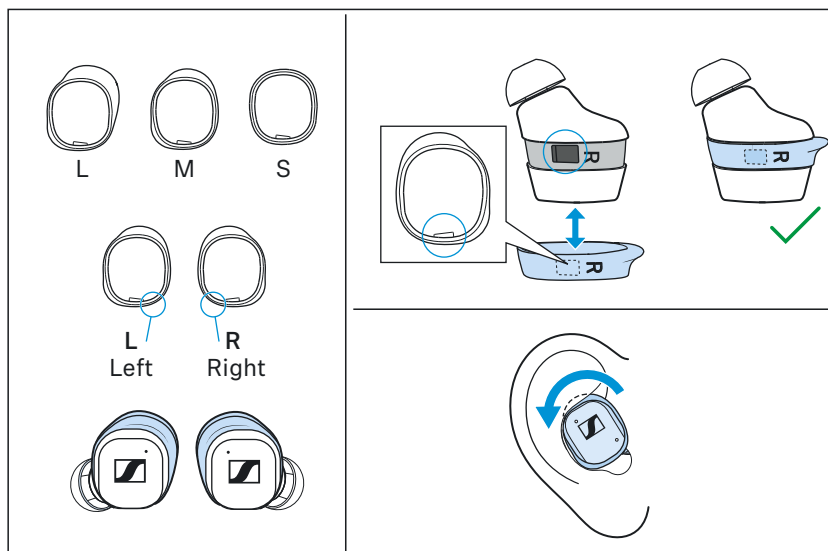
シリコン製イヤーアダプター



- ▷ イヤーアダプターをサウンドチャンネルから引き抜きます。
- ▷ 新しいイヤーアダプターをサウンドチャンネルに差し込んで、イヤーアダプターがカチリとはまることを確認します。
- ▷ どの種類のイヤアダプターサイズが自分にいちばんいい音質と掛け心地が良いかを試してください。
XS、S、M、Lの4種類の異なるサイズのイヤーアダプターから選択できます。イヤーアダプターは確実に外耳道にはまり、耳を完全にふさぐようにします。

i Smart Control アプリの「フィットテスト」機能を使用して、イヤホンの耳へのフィット感をテストすることができます。

シリコン製イヤーフィン

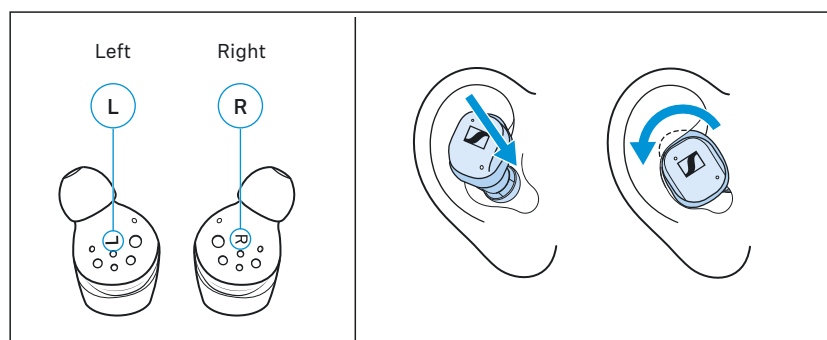


- ▷ イヤーフィンをイヤホンから慎重に引いて取り外します。
- ▷ 左右のイヤーフィンを左右のイヤホンに合わせてください(下側の刻印を参照)。

イヤホンを使用する

- ▷ イヤーフィンリング内側のラッチラグをイヤホンのくぼみに合わせ、リングをイヤホンハウジングの上に引っ掛けます。リングがイヤホンハウジングのガイドに適切に合っていることを確認してください。
- ▷ どの種類のイヤーフィンのサイズがご自分に最も着け心地が良いかをお試ください。
イヤーフィンは、3つの異なるサイズ M および L からお選びいただけます。イヤーフィンは、イヤホンを耳の後方部分にしっかりと固定します。イヤーフィンをご使用にならない場合は、サイズ S をイヤホンに取り付けてください。

イヤホンを耳に着用する



- ▷ 左右のイヤホンを左右の耳に割り当てます。
- ▷ イヤホンを軽く傾けて耳に挿し込み、外耳道に少し回して挿し入れ、外耳道内で快適で安定してフィットするようにします。イヤーフィンをご利用になる場合は、フィンが耳たぶに固定されることを確認してください(> 24)。

i 右または左のイヤホンは単独でも使用することができます。使用中に一方のイヤホンを充電ボックスに入れると、もう一方のイヤホンの再生が一時的に中断される場合があります。

i スマートポーズ機能により、イヤホンを耳から外すと音楽の再生が自動的に停止します(> 32)。

イヤホンの設定

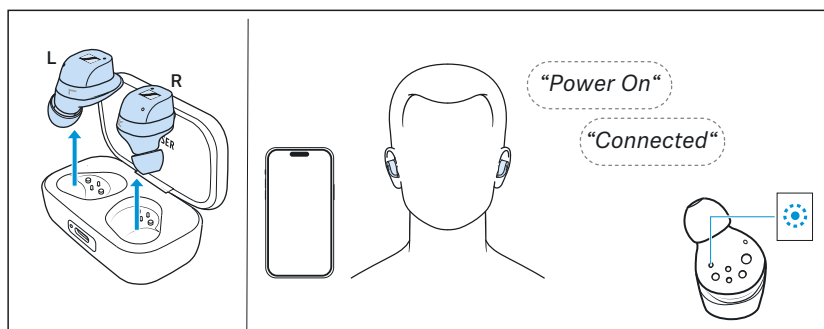


警告

大音量による危険！

大音量で長時間聴くと、恒常的な聴覚障害につながる可能性があります。

- ▷ ヘッドフォンを装着する前に、音量を下げてください(> 28)。
- ▷ 恒常的に大音量で聞かないでください。



- ▷ 充電ボックスのふたを開け、両方のイヤホンを取り出します。
- ▷ イヤホンを耳に挿入します (> 26)。
ペアリング済みの Bluetooth 機器が無線通信エリアにある場合、音声メッセージ “Power on” と “Connected” が聞こえます。イヤホンの LED が青く点灯します。

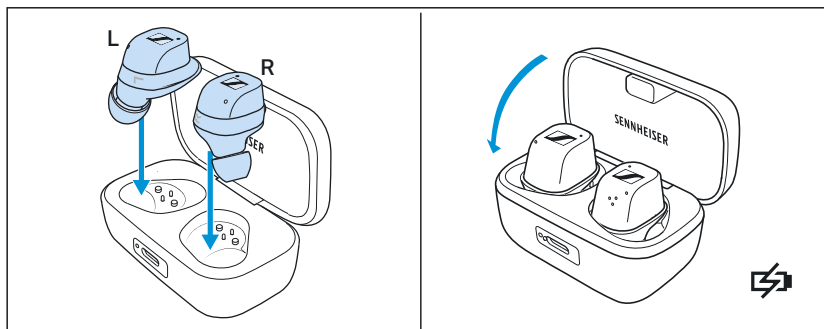
i 着信中にイヤホンを充電ボックスから取り外すと、通話が自動的に受け入れられて、イヤホンを直接使用して通話することができます。

この Auto Call 機能は、Smart Control アプリを使用してオフにすることができます (> 34)。

i イヤホンは、15 分間ペアリングされた Bluetooth 機器が見つからないと自動的にスリープモードに切り替わります。Smart Control アプリを経由して、この設定を変更できます。

スリープモードは、タッチ操作パネルに 1 度触れるかまたはイヤホンを短時間充電ボックスにセットすると解除できます。

イヤホンの電源を切る



イヤホンの電源を明白に切る必要はありません。

- ▷ イヤホンを充電ボックスに入れ、ふたを閉めることで、イヤホンはオフになります。
イヤホンが充電ボックスにセットされ、充電ボックスのふたが閉じられると、イヤホンはオフになり、充電が開始されます (> 16)。

i 充電ボックスのふたを閉じないと、Bluetooth 接続はしばらく中断されますが、接続は回復し、イヤホンは充電されます。

i イヤホンは、15 分間ペアリングされた Bluetooth 機器が見つからないと自動的にスリープモードに切り替わります。

スリープモードは、タッチ操作パネルに 1 度触れるかまたはイヤホンを短時間充電ボックスにセットすると解除できます。

音量を調節する

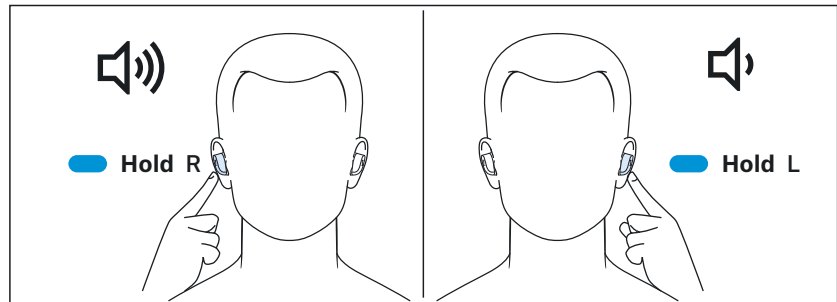


警告

大音量による危険！

大音量で長時間聴くと、恒常的な聴覚障害につながる可能性があります。

- ▷ イヤホンを挿入する前、またはオーディオソースを変更する前に、音量を下げてください。
- ▷ 恒常的に大音量で聞かないでください。



音量を上げるには：

- ▷ 右のイヤホンのタッチ操作パネルに触れ、音量が上がるまで触れていてください。

音量を下げるには：

- ▷ 左のイヤホンのタッチ操作パネルに触れ、音量が下がるまで触れていてください。

最大音量または最小音量に達すると、音声メッセージ “Volume max” または “Volume min” が聞こえます。



接続された Bluetooth 機器経由でも音量の調整ができます。



音声アシスタントが有効になっており (> 31) 次にイヤホンの音量を変えると、音声アシスタントの音量は調節され、記憶されます。

アクティブノイズキャンセリング ANC に関する情報

イヤホンを外耳道に装着することで周囲の騒音からの受動的な隔離を効果的に実施することができます。

イヤホンはそれに加えてアクティブ ノイズ キャンセリング機能「ANC」も備えており、周りの雑音を最小限に減らすことができます。ANC が動作中でもイヤホンの音質は常に最適です。

騒音の多い環境において静かな空間を作りたい場合には、アクティブノイズキャンセリングを活用してイヤホンを単なるノイズ保護としても使用することができます。

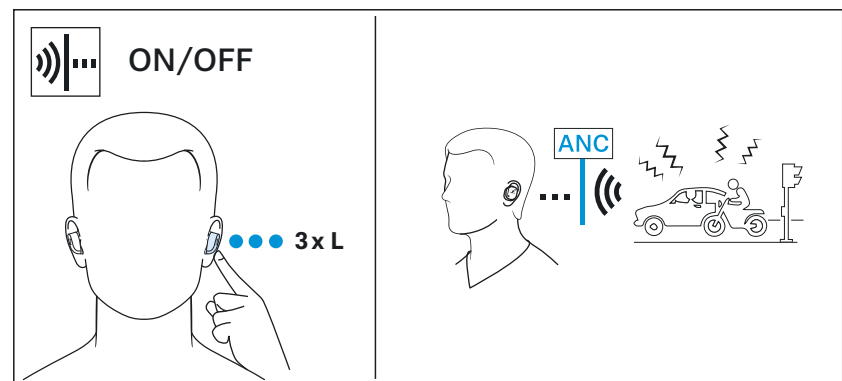
Smart Control アプリを用いて、さまざまな ANC モードを選択でき、これによって使い方の状況に応じた最適な設定が可能になります。アダプティブノイズキャンセリング機能は、その強度を周囲のノイズレベルに合わせて調整します。

アクティブノイズキャンセリングについての説明

- モーターのブーンという騒音や送風機の騒音などの絶えず続く低周波の騒音は特に効果的に抑制することができます。
- 言葉や高周波の雑音は大幅に減少しますが、はっきりと聞きとれることがあります。
- 異常なノイズ(口笛やピープ音)が発生した場合は、イヤホンを取り外して再度挿入してください。イヤホンが外耳道に正しく装着されていることを確認してください。
- 大きな異常なノイズ(口笛やピープ音)を抑え、正常なノイズキャンセリングを確実にするため、イヤホンの外側のアクティブノイズキャンセリングのマイクの開口部を塞がないでください。
- アクティブノイズキャンセリングをオンにすると、イヤホンのバッテリー残量が減ります。

アクティブノイズキャンセリング ANC をオンまたはオフにする

- ▷ 左のイヤホンのタッチ操作パネルを 3 回タップします。アクティブノイズキャンセリングがオンまたはオフに切り替わります。



i Smart Control アプリを使用すると、アクティブノイズキャンセリングがオンまたはオフに切替えることができます(> 21)。

i 通話中は、最適な音質を確保するため、アクティブノイズキャンセリング (ANC) は常にオンになっています。

アクティブノイズキャンセリング (ANC) を設定する

アクティブノイズキャンセリング ANC を調整するには Smart Control アプリが必要です(> 21)。

- ▷ Smart Control アプリで希望する ANC モードを選択してください。

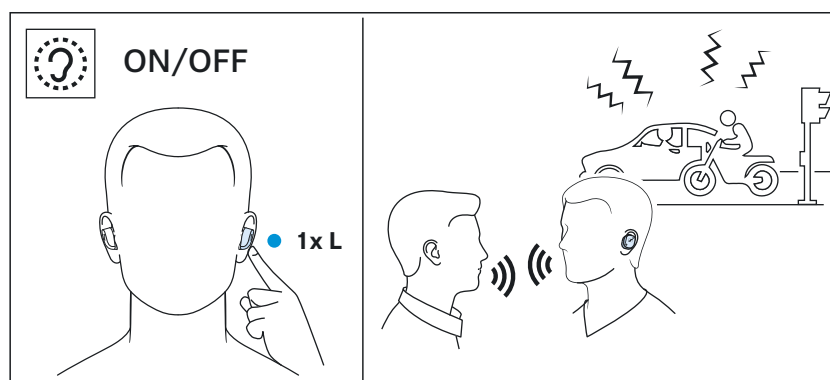
ANC モード	低周波の暗騒音および妨害音の低減
“Adaptive” （「アダプティブ」）*	騒音の状況に応じた低減： - 大音量環境での最大限の低減 - 静かな環境では最小限の低減
“Anti Wind” （「風の音低減」）	風切り音または衣擦れノイズを最低限に抑える軽度の低減

* 標準設定

周囲の音または会話の聞き取り（「トランスパレンシーモード」を有効 / 無効にする）

トランスパレンシーモードでは、イヤホンを耳から外すことなく周囲の音を聞いたり、またはコミュニケーションを取ることができます。例えば鉄道または飛行機内のアナウンスを聞いたり、短い会話を行うことができます。

Smart Control アプリを使えば、トランスパレンシーモードの強さを調整できます。これにより、周囲の騒音が耳に届く範囲を決定することができます。



- ▷ 左のイヤホンのタッチ操作パネルを 1 回タップします。
Smart Control アプリ内で設定されたトランスパレンシーモードが有効です。周囲の音を聞き取るためにイヤホンを耳から外す必要はありません。

トランスパレンシーモードを無効にするには、

- ▷ 左のイヤホンのタッチ操作パネルを 1 回タップします。

トランスパレンシーモードでの再生ポーズの調整

トランスパレンシーモードが有効になっている場合のオーディオ再生の動作を選択できます。この設定のためには Smart Control アプリが必要です (> 21)。

- ▷ Smart Control アプリの「トランスパレンシーモード」エリアで、オーディオ再生に必要な設定を選択します。

(自動ポーズ)	説明
有効 *	オーディオ再生（音楽など）はミュートされ、周囲の音のみが聞こえます。
無効	オーディオ再生（音楽など）はそのまま続き、周囲の音と混ざり合います。

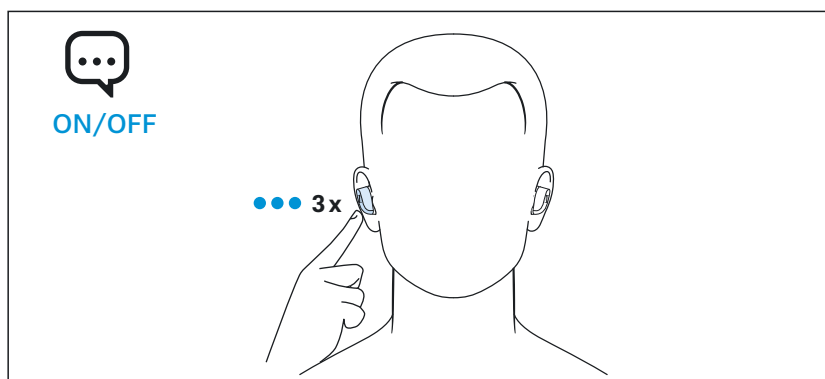
* 標準設定

音声アシスタント / 言語選択の使用

- ▷ 右のイヤホンのタッチ操作パネルを 3 回タップします。Bluetooth 機器で利用可能な音声アシスタントが起動します（使用するシステムやアプリによって異なります。Siri、Google アシスタントなど）。
- ▷ 所望の問い合わせを話し掛けます。

音声アシスタントへの選択または入力をキャンセルするには：

- ▷ 右のイヤホンのタッチ操作パネルを 1 回タップします。



右のタッチ操作パネル	機能
 3 回タップする 	音声アシスタントをオンにする

i 音声アシスタントが有効になっており、イヤホンの音量を変更すると (> 28)、音声アシスタントの音量は調節され、永続的に記憶されます。

スマートポーズ機能を使用する

イヤホンは、イヤホンが耳に着用されているか、耳から外されるかを自動的に検知します。

音楽再生は、イヤホンの1つを耳から外すと一時停止し、再び着用すると続けます。再生が2分以上中断された場合は、自動的に再開されません。

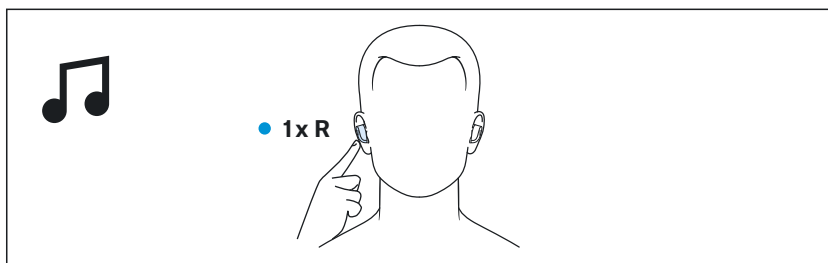
Smart Control アプリを経由して、この機能を有効または無効にすることができます（標準設定）。

音楽再生を制御する

音楽再生機能は、イヤホンと Bluetooth 機器が接続されている場合にのみ使用できます。スマートフォンまたは音楽プレーヤーの中にはすべての機能をサポートしないものもあります。

音楽を再生 / 一時停止する

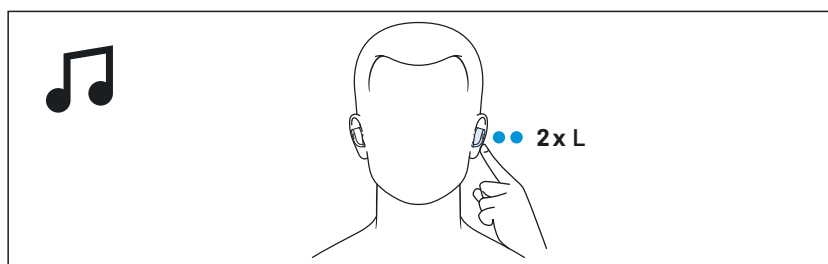
▷ 右のイヤホンのタッチ操作パネルを1回タップします。



右のタッチ操作パネル		機能
	1回タップする ●	音楽を再生または一時停止する

前のタイトルを再生する

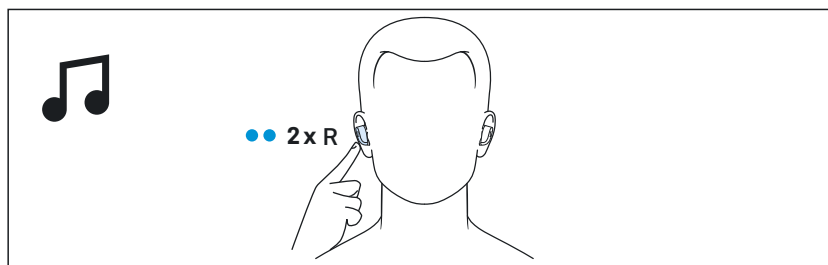
▷ 左のイヤホンのタッチ操作パネルを2回タップします。



左のタッチ操作パネル		機能
	2回タップする ● ●	再生リストの前のタイトルを再生する

次のタイトルを再生する

▷ 右のイヤホンのタッチ操作パネルを2回タップします。

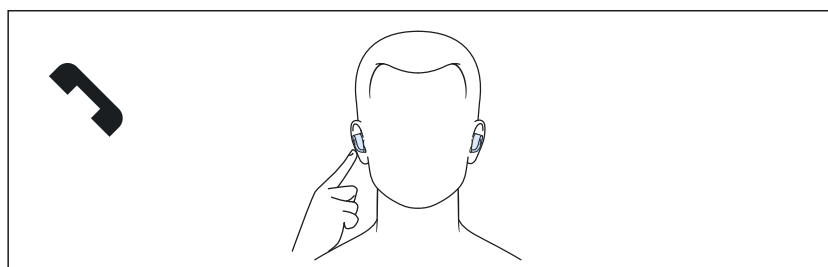


右のタッチ操作パネル		機能
	2 回タップする 	再生リストの次のタイトルを再生する

イヤホンで電話する

通話機能は、イヤホンと Bluetooth 機器が接続されている場合にのみ使用できます。一部のスマートフォンおよびテレフォニーアプリ (WhatsApp、MS Teams、WeChat など) で通話制御のすべての機能をサポートしていない場合があります。

通話中に、**右または左イヤホン**で通話機能を制御することができます。



電話をかける

- ▷ 希望の電話番号をダイヤルします。
スマートフォンが通話を自動的にイヤホンに転送しない場合、お使いの機器で「MOMENTUM 4」を出力機器として選択してください (必要に応じて、お使いの機器の取扱説明書を参照ください)。

通話を受ける／拒否する／終了する

イヤホンがスマートフォンと接続されているときに着信通話があると、イヤホンから着信音が聞こえます。

音楽を聴いている時に電話がかかると、通話が終了するまで音楽は一時停止されます。

右または左のタッチ操作パネル		機能
	1 回タップする 	通話を受ける
	2 回タップする 	通話を終了する 音声メッセージ 「Call ended」

右または左のタッチ操作パネル		機能
	2 回タップする ● ●	通話を拒否する 音声メッセージ 「Call rejected」
	1 回タップする ●	通話を受け、現在の通話を終了する
	2 回タップする ● ●	通話を拒否し、現在の通話を続ける

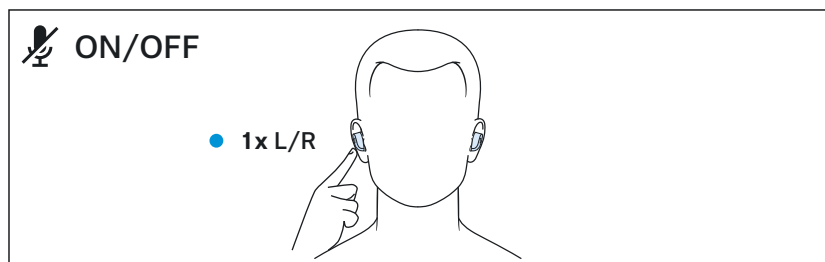
マイクを消音にする

通話中にイヤホンマイクをミュートするには：

- ▶ 右または左のイヤホンのタッチ操作パネルを 1 回タップします。
“Mute on” という音声メッセージが出ます。
マイクはミュートされています。

マイクを再度有効にするには：

- ▶ 右または左のイヤホンのタッチ操作パネルを 1 回タップします。
「Mute off」 という音声メッセージが出ます。
マイクが再度有効になります。



Auto Call 機能の活用

着信中にペアリングされたイヤホンを充電ボックスから取り外すと、通話が自動的に受け入れられて、イヤホンですぐに通話することができます。

Smart Control アプリを経由して、この機能を有効または無効にすることができます（標準設定）。左右両方のイヤホンの設定を行うには、両方のイヤホンをオンにする必要があります。

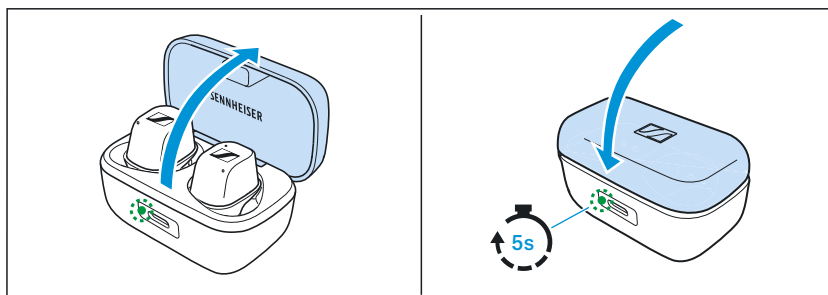
- i** 右または左のイヤホンは単独でも使用することができます。使用中に一方のイヤホンを充電ボックスに入れると、もう一方のイヤホンの再生が一時的に中断される場合があります。

バッテリーの充電レベルを表示する

イヤホンが Bluetooth 機器と接続されている場合、バッテリーの充電レベルを機器のディスプレイに表示させることができます（使用する機器およびオペレーティングシステムによって異なります）。

Smart Control アプリでも、イヤホンバッテリーと充電ボックスバッテリーの充電レベルを表示することができます。

バッテリーの充電レベルを充電ボックスにより表示する



USB ケーブルが充電ボックスに接続されていない場合、または充電ボックスがワイヤレス充電ステーションに置かれていない場合：

- ▷ 充電ボックスのカバーを開きます。
充電ボックスの LED ディスプレイには、バッテリーの充電レベルが表示されます。

充電ボックスのふたを閉めると、5 秒後に LED ディスプレイが消えます。

LED		イヤホンを装着した充電ボックス	イヤホンを装着していない充電ボックス
	緑色に点灯	イヤホンは完全に充電されており、充電ボックスは 50 % 以上充電されています。	充電ボックスは 50 % 以上充電されています。
	黄色のパルス	イヤホンは充電ボックスのバッテリーを介して充電されています。	—
	黄色に点灯	イヤホンは完全に充電されていますが、充電ボックスは 50 % 以下しか充電されていません。	充電ボックスは 50 % 以下しか充電されていません。
	赤色に点灯	イヤホンおよび充電ボックスのバッテリーの残量はほとんどありません。	充電ボックスのバッテリーの残量はほとんどありません。
	赤い点滅	少なくとも 1 つのイヤホンに充電 / バッテリーエラーがあります (> 41)。	充電ボックスに充電 / バッテリーエラーがあります (> 41)。

サウンドイフェクト / イコライザーの設定

サウンドイフェクト / イコライザー機能を利用するには、Smart Control アプリが必要です (> 21)。

- ▶ Smart Control アプリで希望するサウンドイフェクトをイコライザー経由で選択してください。事前に定義されたプリセットを使用することも、サウンドモード (ベースブーストなど) や独自の設定を行うことも可能です。
サウンドイフェクトはイヤホン内に保存されます。Smart Control アプリを使用しなくても他の Bluetooth 機器を使用するなどすれば、これらのサウンド設定は有効です。
左右両方のイヤホンの設定を行うには、両方のイヤホンをオンにする必要があります。

 Smart Control アプリの Sound Check 機能を使用すると、カスタマイズされたイコライザープリセットを作成できます。Sound Check 機能は、最適な結果が得られるまで、ステップバイステップのサポートを提供します。

バッテリー保護モード

保護モードが有効な場合、イヤホンのバッテリーはバッテリーの寿命を延ばすため、特に穏やかに充電され、約 80 % の充電レベルまでしか充電されません。これにより、イヤホンの最大再生時間は標準再生時間の約 80 % に短縮されます。

バッテリー保護モードは、Smart Control アプリ (> 21) を介して有効にすることができます。

エコモード

エコモードは、エネルギー消費を最適化することでイヤホンの再生時間を最大化するモードで、Smart Control アプリ (> 21) から有効にすることができます。このモードは、aptX™ 伝送に対応した機器でのみ使用できます。

エコモードでは、aptX™ Bluetooth-Codec の使用が無効になり、オーディオデータは SBC または AAC 経由でのみ送信されます。これにより、イヤホンの伝送帯域幅が減少し、バッテリー寿命が長くなります。

再生時間をさらに最大化するためには、アクティブノイズキャンセリング ANC (> 29) とトランスパレンシーモード (> 30) も無効化することをお勧めします。

「ハイレゾリレーションオーディオ」モード

「ハイレゾリレーションオーディオ」モードでは、Bluetooth-Codec aptX™ Adaptive によるフルサウンド帯域幅が提供されます。オーディオデータは圧縮され、サンプリング周波数 96 kHz、サンプリング深度 24 Bit で送信されます。

このモードの前提条件は、aptX™ Adaptive に対応したオーディオソース (プレーヤーまたは Bluetooth 機器) と高解像度品質のオーディオ素材です。

Smart Control アプリで「ハイレゾリレーション・オーディオ」モードを有効にすると、Bluetooth の通信距離が若干短くなる場合があります。

「ロスレスオーディオ」モード

「ロスレスオーディオ」モードは、最高の音質を提供します。オーディオデータは、サンプリング周波数 44.1 kHz、サンプリング深度 16 Bit の CD 品質で、Bluetooth-Codec aptX™ Lossless を介して非圧縮かつビット精度で伝送されます。

再生するオーディオ素材には、それに対応する高解像度品質が必要です。

Smart Control アプリで「ロスレスオーディオ」モードを有効にすると、Bluetooth の通信距離が若干短くなる場合があります。

「低レイテンシー」モード

イヤホンにはレイテンシー補正機能が標準装備されています。低レイテンシーモードは、オーディオ信号とビデオ信号間の遅延 (スマートフォンでビデオをストリーミングする場合など) を最小限に抑えるために使用することもできます。

このモードはすべての Bluetooth-Codec で使用できます。

Smart Control アプリで「低レイテンシー」モードを有効にすると、Bluetooth の通信距離が若干短くなる場合があります。

音声メッセージ / 通知音を設定する

音声メッセージ / 信号音を設定するには、Smart Control アプリが必要です (> 21)。

また、音声メッセージと通知音間の選択、または少数の例外を除いて (バッテリーが切れる通知など) ステータスメッセージをオフにすることができます。左右両方のイヤホンの設定を行うには、両方のイヤホンをオンにする必要があります。

制御機能のカスタマイズ

音楽制御に制御機能を適合させるためには、Smart Control アプリが必要になります (> 21)。

このアプリでは、イヤホンの制御機能およびその他の制御コマンドをカスタマイズしたり、事前に定義された制御機能を選択したり、オフにしたりすることができます。一部の基本機能は変更することができません (たとえば電話の制御など)。

イヤホンを充電ボックス内で保管または運搬する

注意

湿気や汚れは、充電ボックスやイヤホンの電子回路を破壊する可能性があります！

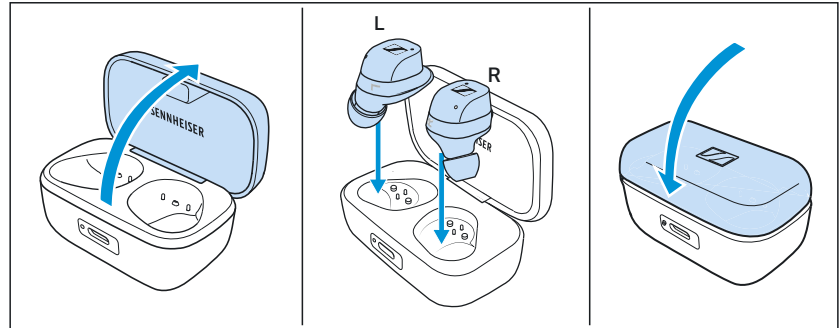
充電ボックス内に湿気や汚れが入ると、その機能が損なわれることがあります。

- ▷ イヤホンが濡れていたり汚れている状態で充電ボックスに入れな
いでください。

イヤホンを使用しない、または運搬する場合は、破損を避けるために充電ボックス内で保管してください。その際イヤホンは自動的に充電され、いつでもフルのバッテリー駆動時間が得られます。

イヤホンを使用する

- ▷ マグネットの軽い抵抗がありますが充電ボックスのふたを開き、左のイヤホンを左、右のイヤホンを右の充電ポートにセットします。
イヤホンはマグネットにより充電ポートに引き付けられます。
- ▷ 充電ボックスのふたを閉じます。



イヤホン/充電ボックスのお手入れとメンテナンス

注意

液体は製品の電子部品を破壊するおそれがあります！

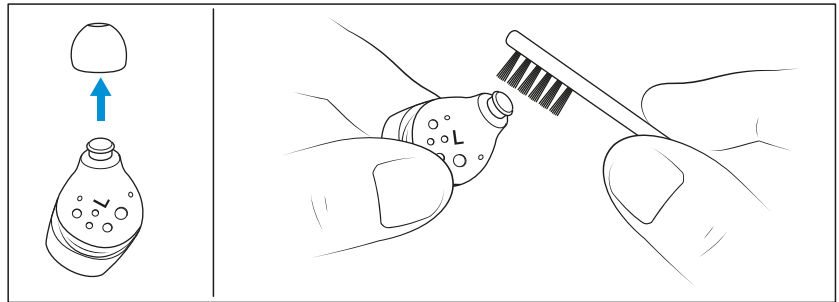
製品の筐体の中に液体が入ると短絡の原因となり、製品の電子部品を破壊することにつながりかねません。

- ▷ あらゆる種類の液体を当製品に近づけないでください。
- ▷ 溶剤や洗剤は使用しないでください。

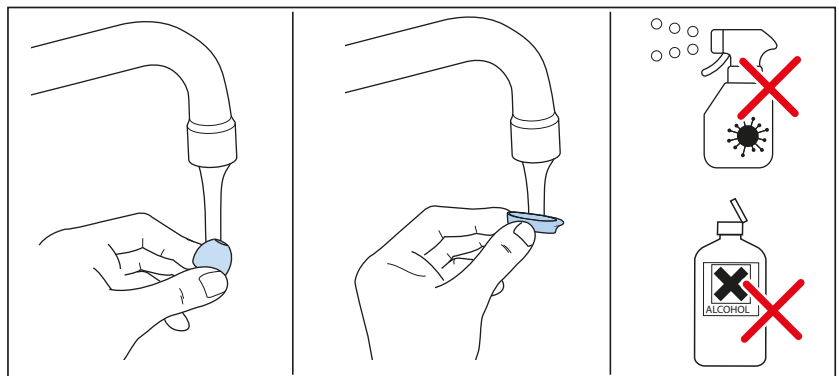
- ▷ 充電ボックスは柔らかい乾いた布のみを使って清掃してください。
- ▷ イヤホンは、軽く湿らせた布で拭いてください。

汚れが原因でイヤホンの音質が低下していることに気づいた場合：

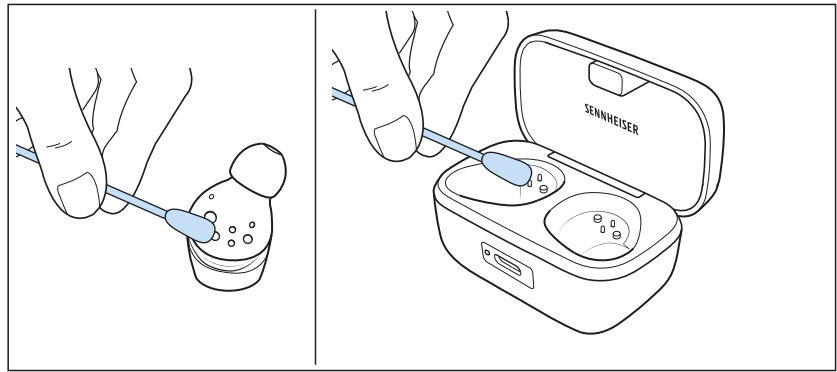
- ▷ イヤホンのサウンドチャンネルからイヤアダプターを取り外します。
- ▷ 乾いた清潔なブラシ（歯ブラシなど）を使用して、サウンドチャンネルの開口部を軽くブラッシングし、保護布の上の汚れを取り除いてください。汚れや異物が電子機器に入らないよう、サウンドチャンネル内の保護布を傷つけないようにしてください。



- ▷ シリコン製イヤアダプターおよびシリコン製イヤフィン、ぬるま湯の流水で洗ってください。イヤアダプターおよびイヤフィンは、室温で 12 時間以上乾燥させてから、イヤホンに取り付けてください。

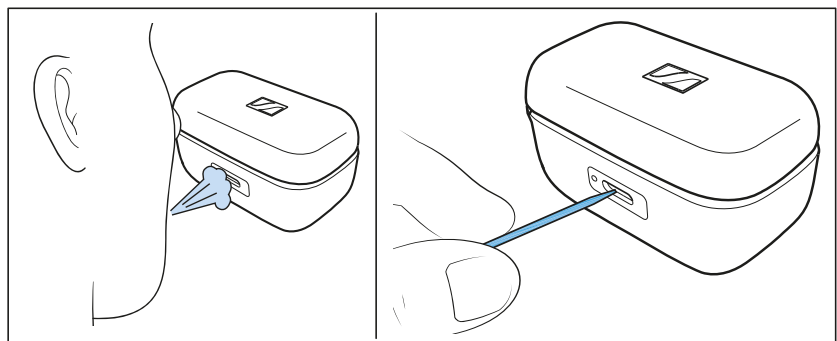


- ▷ イヤホンと充電ボックスの接点は、時々綿棒などで清掃してください。



充電ボックスのUSBソケットにたまったホコリや糸くずなどの不純物を取り除くには：

- ▷ USB ソケットに息を吹き込むか、ソケットの開口部から細いもの（つまようじや歯ブラシの毛など）を慎重に差し込んでください。



イヤホンが濡れた場合：

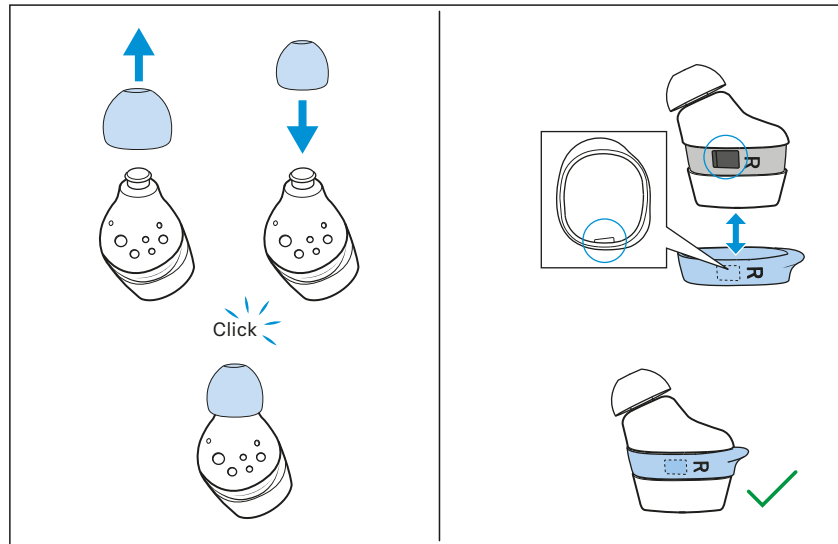
- ▷ イヤーアダプターを取り外し、乾いた布でイヤホンとイヤーアダプターを乾かします。必要に応じて、イヤホンとアダプターを室温で約 12 時間乾燥させます。

イヤーアダプターとイヤーフィンの交換

イヤーアダプター (> 25) とイヤーフィン (> 25) は、衛生上の理由から定期的に交換してください。交換用のイヤーアダプターおよびイヤーフィンは、MOMENTUM True Wireless 4 の製品ページ www.sennheiser-hearing.com に記載されています。

i Smart Control アプリの「フィットテスト」機能を使用して、イヤホンの耳へのフィット感をテストすることができます。

- ▷ イヤーアダプターをサウンドチャンネルから引き抜きます。
- ▷ 新しいイヤーアダプターをサウンドチャンネルに差し込んで、イヤーアダプターがカチリとはまることを確認します。
- ▷ イヤーフィンをイヤホンから慎重に引いて取り外します。
- ▷ 新しいイヤーフィンをイヤホンに取り付けます。イヤーフィンリング内側のラッチラグがイヤホンのくぼみにはまっていることを確認してください。



内蔵型電池についての情報

Sonova Consumer Hearing は、バッテリーが製品購入時に最適化され機能することを保証します。購入後または保証期間内に、電池が明らかに故障している疑いがある、または充電 / 電池エラーが表示されるような場合 (> 8)、製品は続けて使用せず、電源から取り外し、Sonova Consumer Hearing 取扱店にお問合せください。最寄りの Sonova Consumer Hearing 取扱店が修理 / 交換についてお客様とご相談します。

製品を故障しているバッテリーとともに、そのまますぐにお客様の代理店または Sonova Consumer Hearing 取扱店にご返送ください。各国における取扱店は以下でご覧いただけます。

www.sennheiser-hearing.com/service-support.

バッテリーを内蔵した本製品は、使い終わった後、分別して廃棄する必要があります。詳しい情報はこちらをご覧ください。> 47。

i Smart Control アプリでバッテリー保護モードを有効にすると、穏やかな充電が保証され、バッテリー寿命が長くなります (> 36)。

ファームウェアの更新をインストールする

ファームウェアのアップデートは無料でご利用できます。インターネット経由または Sennheiser Smart Control アプリにより入手することができます。

- ▷ 更新プロセスを開始する前に、バッテリーが充電されていることを確認してください (> 16)。
- ▷ アップデート前にイヤホンを充電ボックスから取り出し、アップデート中は充電ボックスに戻さないでください。
- ▷ イヤホンをお使いのスマートフォンを接続し、Smart Control アプリを起動してください (> 21)。
アプリ経由で使用可能なファームウェア更新について情報が提供され、インストールプロセスにより実施されます。
- ▷ 更新プロセス中は、USB 電源への接続や切り離しを行わないでください。

よくあるご質問/エラーが発生した場合

エラーが発生した場合は、エラーが修正され、イヤホンが再び利用可能になるまで、以下のトラブルシューティングを順に行ってください。

1. イヤホンを充電ボックスに入れ、ふたを閉めてください。少なくとも 10 秒お待ちください (> 43)。
2. イヤホンを SmartControl アプリに接続し、最新のファームウェアをインストールしてください (> 41)。
3. イヤホンを工場出荷時の設定にリセットしてください (> 43)。
4. よくあるご質問の一覧に障害解決方法がないかご確認ください (> 42)。
5. 製品のトラブルシューティングは、Sonova Consumer Hearing 取扱店にお問い合わせください (> 42)。

よくあるご質問 (FAQ) の最新リスト



次のウェブサイトで MOMENTUM True Wireless 4 製品ページをご覧ください

www.sennheiser-hearing.com

そこには、よくある質問 (FAQ) の最新リストが掲載されています。

ご質問またはエラーが解決されませんか？

よくあるご質問に記載されていない問題が生じた場合、または記載されている対応策で問題を解決できない場合は、最寄りの Sonova Consumer Hearing 取扱店までお問い合わせください。

各国における取扱店は以下でご覧いただけます。

www.sennheiser-hearing.com/service-support

Bluetooth 通信エリアを離れる場合

無線電話およびストリーミングはお使いのスマートフォンの Bluetooth 通信エリア内でのみ可能です。通信エリアは、壁の厚みや組成など、環境条件によっても異なります。ほとんどのスマートフォンや Bluetooth 機器の通信エリアは、見通しの良好な場所で最大 10 m です。

イヤホンでスマートフォンの Bluetooth 通信エリアを離れる場合は、音質はだんだん悪くなり、音声メッセージ「No connection」が聞こえ、接続は完全に途絶えます。ヘッドフォンを用い、Bluetooth 通信エリアに戻ると、すぐに接続は自動的に再度確立され、音声メッセージ「Connected」が聞こえます。そうならない場合は、1 回イヤホンのタッチ操作パネルに触れてください。

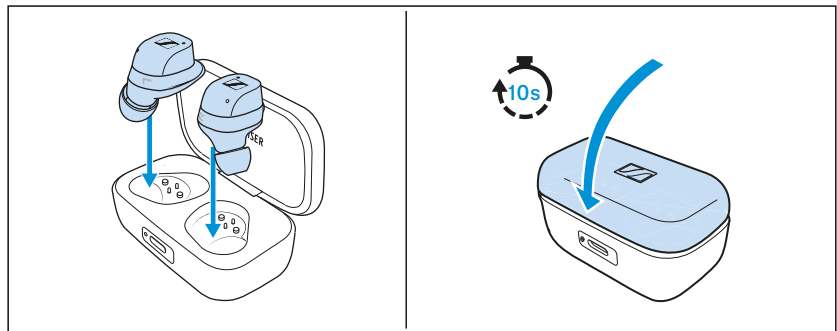
Auracast™の使用中に Bluetooth 機器と Auracast™送信機のワイヤレス範囲から離れると、接続と音声送信も中断されます。以前にペアリングした Auracast™送信機のワイヤレス範囲に戻ると、Bluetooth ワイヤレス接続が再度確立され、オーディオ伝送が自動的に開始されます。

i Bluetooth 伝送は、イヤホンの特別なオーディオ伝送モードを有効にしているかどうかにも影響されます。「ハイレゾリューションオーディオ」モードおよび「ロスレスオーディオ」モードでは、Bluetooth 接続の安定性が低下することがあります。「低レイテンシー」モードでは、ワイヤレス範囲が狭くなる場合があります。

イヤホンの Rest(リセット)を実行します

イヤホンの機能にエラーが発生した際は、Reset(リセット)を実行してください。ペアリング設定などの個々の設定は、その際に削除されません。

- ▷ イヤホンを充電ボックスに入れ、ふたを閉めてください。
10 秒後、イヤホンは再起動されます (リセット)。



イヤホンを工場出荷時の設定にリセットする

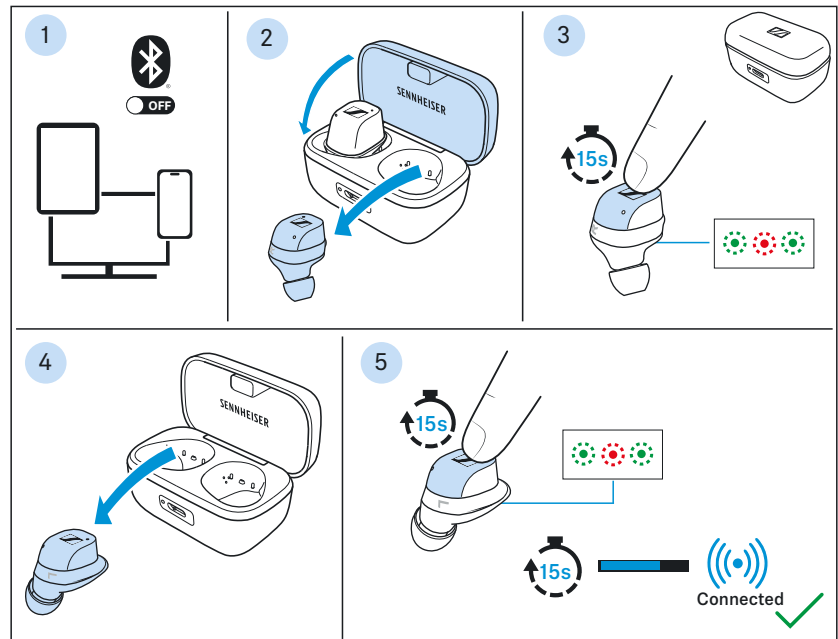
イヤホンで機能に不具合が発生し、リセット (> 43) によっても改善しない場合は、工場出荷時の設定にリセットしてください。その際、すべてのペアリング設定が削除されます。

Smart Control アプリを用いてイヤホンを工場出荷時の設定にリセットすることができます。

または、以下の手順で行うこともできます。

- たとえば、機器の Bluetooth を無効にするなどして、Bluetooth 機器とイヤホン間の既存の接続をすべて切断します。
Auracast™送信機に接続されている場合は、Smart Control アプリ (> 24) を介して接続を切断します。
 - 充電ボックスからイヤホンを 1 つ取り出し、充電ボックスのふたを閉めます。2 つ目のイヤホンは充電ボックスに入れたままにしておきます。
 - 取り出したイヤホンのタッチ操作パネルに 15 秒間触れます。
このイヤホンの LED が緑と赤に交互に点灯します (ピアペアリングモード)。
 - 2 つ目のイヤホンを充電ボックスから取り出します。
 - 2 つ目のイヤホンのタッチ操作パネルを 15 秒間押したままにします。
このイヤホンの LED が緑と赤に交互に点灯します (ピアペアリングモード)。
両方のイヤホンが 15 秒以内に接続されます。
イヤホンは正常に工場出荷時設定にリセットされ、ペアリングされました。
- ▷ イヤホンを Bluetooth 機器または Auracast™送信機に再接続します (> 20)。

よくあるご質問/エラーが発生した場合



技術仕様

MOMENTUM True Wireless 4

モデル：MTW4、MTW4 R、MTW4 L、MTW4 C

イヤークップリング	True Wireless ステレオイヤホン
耳に装着	外耳道
周波数特性	5 Hz ～ 21 kHz
形式	ダイナミック
トランジューササイズ	7 mm
音圧レベル (SPL)	107 dB (1 kHz/1 mW)
THD (1 kHz、94 dB SPL)	< 0.08 % (1 kHz/94 dB)
雑音低減方式	ハイブリッドアダプティブ ANC テクノロジー
マイク基本原理	MEMS
マイク周波数帯域	100 ～ 10 kHz
マイクの指向性（音声および ANC）	イヤホンごとにマイクを 3 つ搭載 アクティブノイズキャンセル用ビームフォーミングアレイ
電源	内蔵型リチウムバッテリー： イヤホン（右と左）： 3.66 V_{nom}、75 mAh、0.28 Wh または 3.8 V_{nom}、72 mAh、0.274 Wh 充電ボックス： 3.6 V_{nom}、820 mAh、2.952 Wh 入力： イヤホン（右と左）： 5 V_{nom}、最大 100 mA 充電ボックス：5 V_{nom}、最大 1000 mA 出力： イヤホン（右と左）：なし 充電ボックス： 5 V_{nom}、最大 100 mA x 2（右と左）
充電ボックスを用いた充電	USB-C ソケットからの充電： 5 V_{nom}、最大 1000 mA、 Qi ワイヤレス充電
動作時間	7.5 時間、イヤホンバッテリー (ANC オフ) 7 時間、イヤホンバッテリー (ANC オン) 30 時間、充電ボックスバッテリー (テスト条件：iPhone、音量 50%)
バッテリーの充電時間	完全充電まで約 1.5 時間 約 8 分の充電で 1 時間音楽再生可能 (周囲温度 15 °C 未満または 30 °C 以上、および Qi ワイヤレス充電により 充電時間が延長されます)
温度範囲	動作時：0 ～ +40°C 充電時：+5 ～ +35°C 保管時：-20 ～ +60°C

相対湿度	動作時：25 ～ 75 %、結露なきこと 保管時：10 ～ 90%
磁界強度	イヤホン：0.95 mT 充電ボックス：105 mT
イヤホンの防水対策	IP54 による跳ね水からの保護
重量	イヤホン：各約 6 g 充電ボックス：約 66 g イヤホンと充電ボックスの重量：約 78 g

Bluetooth

バージョン	Bluetooth 5.4 認定、クラス 1
送信周波数	クラシック BDR/EDR および BLE 1M： 2,402 MHz ～ 2,480 MHz BLE 2M：2,404 MHz ～ 2,478 MHz (2,426 MHz を除く)
変調方式	GFSK、 $\pi/4$ DQPSK、8DPSK
プロファイル	AVRCP、A2DP、HFP、TMAP、PBP
出力	10 mW (最大)
コーデック	aptX™、aptX™ Adaptive/Lossless、 AAC、SBC、Auracast™ Broadcast Audio、LC3
デバイス名	MOMENTUM TW 4
有効な接続数	2

製造者宣言

保証

Sonova Consumer Hearing GmbH は本製品を 24 か月間保証いたします。

現在有効な保証条件はウェブサイト www.sennheiser-hearing.com/warranty を参照されるか、Sonova Consumer Hearing 取扱店にお問い合わせください。

以下の要件に準拠しています

- 一般製品安全に関する指令 (2001/95/EC)
- 各国固有の音量制限に準拠

欧州連合の適合宣言

- RoHS 指令 (2011/65/EU)

Sonova Consumer Hearing GmbH は本書をもって無線設備型式 MTW4 (MTW4 R, MTW4 L, MTW4 C) が無線設備指令 (2014/53/EU) に準拠していることを宣言します。

EU 適合性宣言書の全内容は以下のウェブサイトでご参照になれます。

www.sennheiser-hearing.com/download

英国適合宣言

- RoHS 規制 (2012)
- 無線機器規制 (2017)

廃棄に関するご注意

- EU：WEEE 指令 (2012/19/EU)
- EU：バッテリー指令 (2006/66/EC & 2013/56/EU)
- UK：WEEE 規制 (2013)
- UK：バッテリー規制 (2015)

製品、バッテリー (該当する場合)、および / または梱包に記載されているキャスター付のゴミ箱に?印をした図は、これらの製品が耐用年数を過ぎても通常の家庭用廃棄物として処分できず、分別廃棄しなければならないことを示しています。梱包については、お住まいの国の廃棄物分別に従ってください。梱包材の不適切な廃棄は、お客様の健康や環境に悪影響を及ぼす可能性があります。

使用済み電気・電子機器、バッテリー (該当する場合)、梱包の分別回収により再使用やリサイクルが促され、製品に含まれる潜在的に危険な物質等による健康と環境への危害を防止することができます。電気および電子機器やバッテリーは、リサイクル可能な材料を利用して、耐用年数の終わりには環境に配慮してリサイクルしてください。

バッテリーを破壊せずに取り出せる場合は、別途廃棄する義務があります (バッテリーの安全な取り出し方については、製品の取扱説明書を参照してください)。リチウム含有バッテリーは、火災やボタン電池を飲み込むなどの特殊なリスクがあるため、特に取り扱いに注意してください。耐用年数の長いバッテリーや充電式バッテリーを使用することで、バッテリーからの廃棄物の発生を可能な限り抑えてください。

これらの製品のリサイクルに関する情報については、お住まいの地域当局、自治体の収集、またはお近くの Sonova Consumer Hearing 取扱店までお問い合わせください。また、電気および電子機器を引き取り義務のある販売店に返品することもできます。こうした廃棄方法に従えば環境や公衆衛生の保護に重要な貢献をすることになります。



商標

Apple、iPhone、Apple のロゴおよび Siri は Apple Inc. の米国およびその他諸国における商標です。App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。“iPhone” の商標は、Aiphone K.K. から許可を得て日本で使用しています。

Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の登録商標です。Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。Auracast™ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標です。Sonova Consumer Hearing GmbH によるこれらのマークの使用は、ライセンスに基づくものです。

Qualcomm® aptX™は Qualcomm Technologies International, Ltd. の製品です。Qualcomm は Qualcomm Incorporated の登録商標で、米国およびその他の国で登録されており、使用は許可を得ています。aptX™ は Qualcomm Technologies International, Ltd. の登録商標で、米国およびその他の国で登録されており、使用は許可を得ています。

Qi ロゴは、ワイヤレスパワーコンソーシアムの商標です。

ユーザー文書に記載されている他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標である場合があります。